

2021年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業

**「おおきくなったね！×おおきくなってね！」こども服交歓会
事業報告書**

特定非営利活動法人 彩の子ネットワーク

令和4年3月

目 次

P 1	はじめに
P 3	事業内容・報告
P 1 7	事業成果と新たなニーズ・課題
P 2 0	今後の展望
P 2 1	参考資料 1) チラシ
P 2 4	参考資料 2) アンケート
P 5 2	参考資料 3) マスコミ等掲載記事

はじめに

当法人が埼玉県上尾市で開催している「おおきくなったね！×おおきくなってね！子ども服交歓会」は、コロナ以前は、毎年約2万点ものサイズアウトした子ども服が、次の子どもに届いていました。親の経済状況や親の好みに左右されずに、子どもたちが自分の着たい服を着られることで、活躍できる気持ちになって大きく育っていける可能性があります。子育て中の親たちは、服を買わずにすんだり、次に渡せたりしてとても助かり、それとともに子どもの成長を喜ぶあたたかい気持ちのやりとりが生まれて、人と人とがつながり、ボランティアする側にもなっていける素敵な事業です。

2019年度からWAM助成事業として実施して3年目、2021年度はコロナ禍となって2年目でした。2021年度は、新型コロナウイルス感染症がある前提で、本事業の可能性を模索しました。次の文章が、申請時の事業概要です。

『どんな状況にあっても、自分の人生を嬉しいと思って生きていくのに、服は大切なもの。どの子ども可能性いっぱいにつなぐ地域づくりを目的に、サイズアウトした赤ちゃん子ども服を、集め、整え、甦らせて、子どもから子どもへ届ける「子ども服交歓会」を開催しています。コロナ禍となった今「つながることを、あきらめない。」をテーマに、困窮している家庭に届き、さらにその子その子に必要な社会資源につながることを、行政との連携の中で地域全体で実施する事業です。この事業を通して見えてきたコロナ禍での人々の状況と、社会資源につながったことを「社会資源帳」として記録。衣類の大量廃棄という地球規模の環境問題を背景に持っている活動としてPRします。』

今年度は、「新型コロナウイルスの感染状況をよく見て、子ども服交歓会を実施できる時には感染予防にできる限り配慮して実施する。開催したことでクラスターを起こしてしまわないようにしたい。感染状況を見て、中止にもする。」と考えて進めました。

子ども服交歓会は2021年4月・7月・11月に、感染予防に配慮しての開催ができました。7月の終わりに緊急事態宣言が発令されて、上尾市では8月・9月の2か月間、子育て支援拠点も休館になっていました。9月に地元百貨店の催事場での開催を予定しましたが、残念ながら中止にしてオンラインでの交歓会を開きました。

2022年1月にも交歓会を予定しましたが、子どもたちへの感染力が強いオミクロン株が出てきたため、直前に中止にしました。申し込みをしていた方に、自分で選ぶことはできないけれど、子ども服のサイズや好みの希望を聞いて、ボランティアスタッフが選んだ「福ふく袋」にして、それを取りに来てもらう、というやり方を新たに作りました。どんな状況にあっても、服を循環できるように考えることができたのではないかと思います。「もうすぐ保育園に入園するので、たくさん子ども服が必要になるので助かる」という声をもらいました。

今年度は本事業を進めることで、孤立や貧困の子育てが社会資源につながり、地域の中でやっていけるようにしたいと取り組み、行政機関との連携が大きく進んだ年になりました。行政が把握している母子を紹介されることが多くなり、これまで出会っていなかった、今の時代のいろいろな困難を抱えている方と出会い、そのお一人おひとりとつきあうことが始まりました。“子ども服を一緒に選ぶ”ことを通して、その方と、その方の困難だけに直面しての会話ではなくて、生活の中での何気ない会話ができることが、何よりも貴重な時間なのかもしれないと思います。コロナ禍となり、人と関わることができにくくなっている中で、温かなほっとする時間が持てることが何にも代えがたいのではないかと思います。

また本事業は、誰もがその人のできることで、ボランティアをする側になれる事業です。コロナ禍となって地域活動がストップしている中で、いろいろな世代の方たちや機関からボランティアの申し出が増えていきました。人とつながりたい思いや、人の役に立ちたい思いが、集まってくるように感じます。子ども服交歓会の参加者の中からもボランティア参加があり、若い世代が地域活動に関わるきっかけになりました。

コロナ禍となっても、感染予防に配慮しつつ、あきらめずに子ども服を循環していくことを工夫して行っていることが、ボランティアとして参加しようとする信頼につながっていくように思います。

WAM の助成をいただいた 3 年の間に、予測していなかった新型コロナウイルス感染症が出現して社会が一変する事態となりました。子育ての孤立や貧困の状況にある家庭を応援していくことが、尚一層課題となりました。WAM 助成期間であったため、安定して事業に取り組むことができました。コロナ禍での事業実施に試行錯誤した 2 年間の経験を土台に、今後もどうやったらできるかと、あきらめずに続けていこうと思います。

【2016 年から 2020 年「おおきくなったね！×おおきくなってね！子ども服交歓会」事業のこれまで】

2016 年に DV 等で衣類を持たず家を出てきた親子に洋服を提供したことから始まりました。2017 年 9 月から「おおきくなったね！×おおきくなってね！子ども服交歓会プロジェクト」として始動し、3 年の間、毎月交歓会を開催しながら実施方法を整え、この事業の持つ大きな可能性を思ったときに、ひとつの町だけに留めずに全国に伝えようと、2019 年度 WAM 助成事業として実施しました。2019 年度は、事業の概要を伝えるパンフレットと、事業主旨や実施方法や課題等をまとめたマニュアル (A4 12 ページ) を作成、年度末に全国に配布して、2020 年度は他県での実施や、全国規模の企業、服飾専門学校等に動こうと思っていた矢先に、新型コロナウイルス感染症で動けなくなりました。

2020 年度、緊急事態宣言で何も動かなくなっている中、まず 4 月、シングルマザーに食料支援物資を宅配便で送ることを WAM 助成事業でできました。6 月中旬に子育て支援拠点が再開し、子ども服についてもどのように循環することができるかを模索し始めました。まずはコロナ禍で経済的に困窮した家庭に宅配便で送る「お届けプロジェクト」を 8 月と 12 月に実施しました。10 月 31 日、11 月 1 日、リアルな子ども服交歓会を、感染予防を徹底して開催することができました。新型コロナウイルス感染症がある時代の、新しいボランティアの在り方も模索し始めました。自宅で子ども服を洗濯する「洗濯ボランティア」や、交歓会開催時の設営をより多くの人で行えるよう協力を募り、ひとりの負担を少なくしたいと考えました。交歓会に参加した方たちは、コロナ禍でも開催されたことを喜び、感染予防をしての開催に安心して参加できたと感想をもらいました。さらに、オンラインでの子ども服交歓会を 1 月に開き、オンラインで交流しながら自分の着たい服を選ぶことを楽しみました。3 月の「こども☆夢☆未来フェスティバル」(毎年 1 万人の参加があった催し) の中でも、オンラインで実施しました。

令和 4 年 3 月
認定 NPO 法人彩の子ネットワーク
代表 関昌美 鈴木玲子

○柱立て1. 「おおきくなったね！×おおきくなってね！」子ども服交歓会

1) 目的

サイズアウトした子ども服を必要な人に渡せる交歓会を開き、生活が助かり、人と人がつながり、安心して暮らせる地域にする。

2) 内容

サイズアウトした子ども服（新生児用～160cm）を無料で預かり、必要な人に無料で渡す交歓会を開催。感染予防を徹底するため、時間を分けた予約制で三密をさけて開催しました。

今年度は、「新型コロナウイルスの感染状況をよく見て、子ども服交歓会を実施できる時には感染予防にできる限り配慮して実施する。開催したことでクラスターを起こしてしまわないようにしたい。感染状況を見て、中止にもする。」と考えて進めました。

9月に丸広百貨店上尾店の催事場にて、初の子ども服交歓会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症が拡大していたため、惜しくも開催するには至りませんでした。

子ども服交歓会には、「1回10点まで選んで手続きをしてもらおう。時間内に何回でも入場できる」というルールがありますが、手続きをするのに長蛇の列になりがちでした。11月14日の子ども服交歓会では、手続き方法を見直して、アンケート記入もスマートフォンで行えるように工夫しました。待ち時間が短くなり、何回も再入場できることで、1回10点までのルールを守ることが、より浸透していくように変えることができました。

3) 対象者

子育て中の親子、子どもに関わる人

4) 開催日時・場所・参加者数

2021年4月25日（日）子ども服交歓会

子どもだけが選ぶ時間 10:00～10:45

子ども服交歓会①11:15～12:15 ②13:30～14:30 ③15:00～16:00

場所：上尾市文化センター ホワイエ（新生児～70cmは、つどいの広場玄関広場で開催）

参加人数：スタッフ&ボランティア 計21人

参加者 169人

2021年7月17日（土）子ども服交歓会

子どもだけが選ぶ時間 10:00～10:45

子ども服交歓会①11:15～12:15 ②13:30～14:30 ③15:00～16:00

場所：上尾市文化センター ホワイエ（新生児～70cmは、つどいの広場玄関広場で開催）

参加人数：スタッフ&ボランティア 計21人

参加者 147人

2021年8月22日（日）子ども服交歓会

→新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

2021年9月3日（金）～5日（日）子ども服交歓会 in 丸広百貨店

→新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

（予定）9月2日（木）搬入・事前準備

9月3日（金）～5日（日）子ども服交歓会

9月6日（月）撤収

予定場所：丸広百貨店 上尾店 催事場

2021年11月14日（日）子ども服交歓会

子どもだけが選ぶ時間 10：00～10：45

子ども服交歓会①11：15～12：15 ②13：30～14：30 ③15：00～16：00

場所：上尾市文化センター ホワイエ（新生児～70cm は、つどいの広場玄関広場で開催）

参加人数：スタッフ&ボランティア 計 21 人

参加者 147 人

2021年1月23日（日）子ども服交歓会

→新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

「福ふく袋」お渡しプロジェクトとして洋服をお渡しした（柱立て：4）

5) 活動写真

<事前準備 洋服の仕分け>



お預かりした洋服を、男女・サイズごとに仕分けして、風呂敷につつまます。

<当日会場の様子>

事前予約制にするなど、感染予防に配慮しながら開催しました。



<こどもだけが選ぶ時間>

子どもだけが会場に入り、自分で好きな洋服を選びます。困っている子どもがいたら、ボランティアスタッフがお手伝いをします。





○柱立て2. 「おおきくなったね！×おおきくなってね！」オンライン子ども服交歓会

1) 目的

コロナ禍でも集まらずに参加できる交歓会。孤独になりがちな親子が、外とのつながりを持つ機会をつくる。

2) 内容

ビデオ会議ツール Zoom で、洋服を展示した会場と自宅の参加者をつなぎ、参加者同士の交流を楽しむ中で洋服を選びました。選んだ洋服は、当法人事務所に、各自取りに来てもらいました。オンライン開催の為、交歓会会場から離れた地域からの参加もあり、場所が離れていても参加できる嬉しさを感じることができました。

3) 対象者

子育て中の親子、子どもに関わる人

4) 開催日時・場所・参加者数

2021年9月23日（祝・木）オンライン de 子ども服交歓会

①11：00～12：00 50cm・60cm・70cm

②14：00～15：00 100cm・110cm

場所：当法人事務所

参加人数：スタッフ&ボランティア 計 10人

参加者 13人

2021年9月26日（日）オンライン de 子ども服交歓会

①11：00～12：00 80cm・90cm

②14：00～15：00 120cm・130cm

場所：当法人事務所

参加人数：スタッフ&ボランティア 計 13人

参加者 8人

5) 活動写真

<会場準備>



<当日の様子>



当日は、洋服をスマホカメラで写して、洋服の詳細を伝えます。

○柱立て3. 「こんにちは赤ちゃん」 交歓会の常設

1) 目的

妊婦や新生児の親が、洋服やグッズを持ち帰ることができて助かり、出産前から人との関わりが持て、子育てへの不安が軽減する。

2) 内容

新生児の季節ごとの洋服や、月齢で役立つグッズを譲り受けることができる交歓会を常設で開催

し、妊婦さんには、リメイクした“スタイ”（損傷ある服をよだれかけに再生）をプレゼントしました。月に2日間、助産師さんによる相談コーナー（Zoomでも対応）を設けました。

3) 対象者

妊婦、小さい赤ちゃんを育てている方など

4) 開催日時・場所・参加者数

常設展示&プレママ午後の時間（洋服を選びながら、助産師と話したり相談ができる時間）

月曜～土曜 11時～16時・第3日曜日とその前日の土曜日 13時～15時

場所：彩の子ネットワーク事務所 玄関広場

参加人数：参加者 延べ138人

5) 活動写真



新生児から70cmの洋服を常設。助産師さんとお話しができる時間も設けました。

○柱立て4.「おおきくなったね！×おおきくなってね！」子ども服交歓会 物資お渡しプロジェクト

1) 目的

交歓会が開催できない時期に、必要な人に必要な洋服や物資が渡せるようにする。

2) 「福ふく袋」お渡しプロジェクト

①内容

1月23日に予定していた子ども服交歓会は、新型コロナウイルスの感染状況により、直前に中止になりました。申し込み予約をした方に、希望のサイズやどんな服がほしいかを聞き、自分で選ぶことはできないけれど、ボランティアスタッフが選んで「福ふく袋」を作り、各自取りにきてもらう、という渡し方を考え、案内したところ、71組の申し出がありました。

1月23日、第一生命上尾営業所の職員の方たちが社会貢献活動として、「福ふく袋」作りのボランティアに来てくださいました。午前4名、午後3名と、まとまった人数で担当してくださったので、コロナ禍のボランティア編成として安心して行うことができました。

9月24日、上尾市立東中学校の授業「シティズンシップ教育の推進～持続可能な社会の創り手の育成」で座談会に参加し、子ども服交歓会のことを紹介して、小学校高学年向けの大きめサイズの服はいつも不足がちなことを伝えました。中学生たちは、自分たちが着なくなった洋服を集める動きを始めました。全校に呼びかけて、530着の洋服を集めてくれました。2月に担当の先生がその洋服を届けてくださった時に、「福ふく袋」を作っていることを伝えると、もう一度子ども服を学校に持ち帰り、授業の中で中学生が「福ふく袋」を作ってくれました。中学生たちが、受け取る子どものことを思って、服を選ぶ作業は、大変だけれど貴重な体験だったのではないかと思います。「福ふく袋」を受け取った方たちからは、誰かに一生懸命選んでもらえたことへの感謝のメッセージが届きました。

いろいろな方たちに助けをもらい、子ども服を次の子どもの所に届けることができました。最終的には2か月かかりましたが、全員に「福ふく袋」を渡すことができました。

コロナ禍でも、子ども服を循環させていく方法を、新たに作ることができました。



東中学校の先生と生徒さんが集めてくれた洋服と一緒に

②対象者： 2022年1月23日の子ども服交歓会に予約していた方。

③開催日時・場所・参加数

開催日時：2022年1月23日（日）～2月末

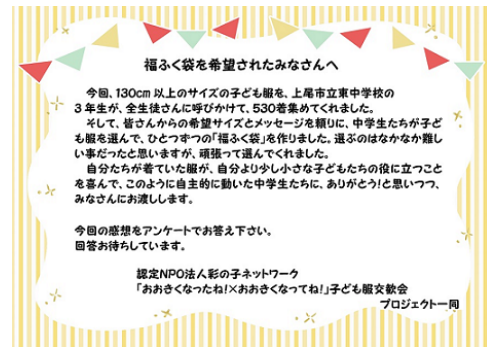
場所：彩の子ネットワーク事務所

参加人数：スタッフ&ボランティア 延べ 17人

お渡し先 71人

④活動写真

<「福ふく袋」仕分け作業の様子>



洋服を一人一人選んで、メッセージカードと一緒にお渡ししました。

3) シングルマザーへの物資お届け

①内容

毎月1回、埼玉県労働者福祉協議会を通じて、フードバンク埼玉の支援物資を、当法人の開催するシングルマザーズサロンに参加している方たちにお渡ししました。

②対象者： シングルで子育てをしている家庭。

③開催日時・場所・参加数

シングルマザーへの支援物資配送

2021年4月17日・5月13日・6月11日・7月10日・8月4日・9月11日・

10月9日・11月12日・12月17日・2022年1月14日・2月19日・3月18日

(全12回)

場所：彩の子ネットワーク事務所

参加人数：スタッフ&ボランティア 延べ 64人

送付先 延べ 257人家庭

④活動写真

<シングルマザーへ物資の発送>



シングルマザーへの物資は、埼玉県労働者福祉協議会を通じて、フードバンク埼玉よりいただいています。毎月、物資を仕分けして、宅急便にてお届けしました。

○柱立て5. コロナ対応ボランティア

1) 目的

コロナ禍でも活動できるボランティアの仕組みをつくる。新型コロナウイルスの実態を把握し、感染が起これないようにできる限り配慮を尽くす。家族も含めて毎日検温し健康状態を確認した上で参加し、孤立しがちな人や子どもに手を貸しあう新たな時代のボランティアを呼びかける。

2) 内容

ボランティアワークの内容の細分化と時間をはっきり設定し、ワーク自体が見える化することで、少しの時間でも参加しやすいものにすることができました。

自宅のできるボランティア（洋服の洗濯・リメイクスタイ等）、洋服サイズ分け、交歓会会場設営、洋服コーディネート、シングルマザーへ渡す物資をフードバンク埼玉に受け取りに行く運転ボランティアや、学生ボランティアを募集しました。

コロナ禍の現在、地域活動に参加することにも制限があったり、機会が減ったりしていますが、感染予防をしっかりとしていくことで、安心して活動に参加できる場所になっています。

上尾市社会福祉協議会からボランティア受け入れの依頼や、第一生命上尾営業所の社会貢献活動として、まとまった人数のボランティア参加がありました。上尾市立東中学校のSDGsの授業で地域の課題を知り体験できることを探しての申し出や、県立上尾高校の家庭科教諭から地域活動に参加する体験の申し出があったり、愛育班から活動が休止している中での参加希望が届いたり、災害ボランティアグループからの参加もありました。

今年度は「第3次上尾市地域福祉計画・第6次上尾市地域福祉行動計画」の策定年にあたり、上尾市社会福祉協議会からボランティア活動の好事例として、策定計画の冊子に本事業のことが紹介されました。

3) 対象者

地域のボランティア希望者、子どもとかかわることや洋服が好きな学生など

4) 開催日時・場所・参加数

2021年4月～2022年3月の通年

場所：自宅・彩の子ネットワーク事務所・交歓会会場等

参加人数：小学生～高齢者 延べ 267人

○柱立て6. 地域の連携「つながることをあきらめない」

1) 目的

行政と連携して、地域全体に事業を周知し、必要な人に必要な支援が届くことと、ボランティアで関わる人を募る協力を得る。

2) 内容

民生委員・主任児童委員の会合で、事業を説明させてもらい、母子手帳の交付時と、新生児訪問の際に「こんにちは赤ちゃん」交歓会（柱立て3）チラシを配布してもらいました。

コロナ禍での人々の状況に応じてつながることができる社会資源を「社会資源帳」にまとめる原案を持って、市の担当課と会合を持ちました。関係課が多岐に渡るために会合を持つことは難しい、けれど関係課への取材という形では実施可能ということでした。しかし、その後に他団体や行政も含めた会合を実施することができず、発行には至りませんでした。

上尾市子ども家庭支援総合センターで把握している養育支援が必要な家庭に、職員が訪問する際に子ども服を持っていきたいという依頼が、年間を通して複数回あり、サイズを聞いて子ども服を選んでおき、渡すことができました。その続きに、当法人が運営する子育て支援拠点に、行政職員が付き添って母子を連れて来館し、一緒に子ども服を選びながら、子育て支援拠点につながるようになりました。同様に、保健センター保健師、児童相談所からも、支援が必要な母子の紹介がありました。

3) 対象者

地域の民生委員及び主任児童委員等

4) 開催日時・場所・参加数

2021年4月～2022年3月の通年

場所：上尾市内

参加者：延べ 315人

年間通じた貧困家庭へ子ども服のお渡し

場所：彩の子ネットワーク事務所

参加人数：スタッフ&ボランティア 延べ 7人

届け先 延べ 7人

○柱立て7. 若者と「オシャレをつくろう！」未来プロジェクト

1) 目的

服飾専門学校の学生や小学生に関わってもらい、デザイナー講座やデザイン画の描き方講座を開催したり、学生さんたちにリメイクのアイテムを作成してもらおう等。

→中止

都内、県内の服飾専門学校に連絡を取ったものの、コロナ禍で学校の授業自体が対面では開けない時期もあり、学生にボランティアの呼びかけをすることができないという回答があり、この柱立て事業は実施できませんでした。

○柱立て8. 「おおきくなったね！×おおきくなってね！」子ども服交歓会

in 「こども☆夢☆未来フェスティバル2022」

1) 目的

コロナ禍で交歓会を実施するやり方を、これまで1万人の参加があった催しの中で、提示できるように試みる。

2) 内容

当初は、「こども☆夢☆未来フェスティバル」会場にて、事前予約制での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大し、まん延防止措置が発令されました。そうした中、感染力の強い変異株も出てきて、子どもへの感染が広がっていたため、「こども☆夢☆未来フェスティバル2022」自体がオンライン開催となりました。それに伴い、子ども服交歓会もオンライン交歓会に変更しました。オンライン交歓会当日に、ボランティアスタッフとして、県立上尾高校から学生7人が参加しました。

高校生たちは、オンラインでの参加者さんに、スマホを手元カメラとして使って、洋服について説明したり、オススメを紹介したりしました。参加しての感想では、「洋服を紹介するのに、洋服の生地や質感などを伝えるのがむずかしかった。」「自分がオススメした洋服を選んでもらったのは嬉しかった。」

「自分が着る洋服を選ぶのに、デザインや金額を気にして選んでいたけど、生地まで気にすることはなかった。今度からは気にしてみようと思う。」などの声がありました。

3) 対象者

80cm・90cmの子ども服を希望する親子

4) 開催日時・場所・参加数

2022年3月13日（日）13時15分～15時15分（45分ずつ 2回）

場所：彩の子ネットワーク事務所と参加者の自宅をZoomでつないで行う

参加人数：スタッフ&ボランティア 9人

参加者 乳児と保護者 2組（1組欠席）

<会場の様子>



高校生たちが、手元カメラを使って、洋服のことをどんな風に伝えたら、イメージしやすくなるか、一生懸命に考えなら伝えてくれました。

○柱立て9. 子ども服交歓会・チラシ作成及び配布及び、HP・SNS等での情報発信

1) 目的

交歓会開催をより多くの人に知らせ、参加、見学を促す。

2) 内容

①子ども服交歓会開催時期に合わせ、チラシを作成。参加にあたり、新型コロナウイルス感染予防のための約束事や、予約サイトでの予約方法が伝わりやすいよう、工夫しました。

A. 子ども服交歓会開催のチラシ（4月・7月・11月・1月）

B. オンライン交歓会チラシ（9月）

C. 子ども服交歓会inこども☆夢☆未来フェスティバル2022チラシ（3月）

D. 「こんにちは赤ちゃん」交歓会チラシ（3月）

②上尾市・上尾市教育委員会・上尾市社会福祉協議会・上尾商工会議所の後援を得て、市内公共機関、小学校（全児童配布）や保育所・保育園・認定こども園・小規模保育園（全園児配布）、児童館、図書館、産婦人科、子ども食堂、フードパントリーなどにチラシを配布し、子どものいる家庭にできる限り届けることができました。

③HP、LINE@、facebook他、イベント情報サイトなどで交歓会情報を発信しました。

また、配布に動く中、保育園から、園内で集めた洋服の受け先として洋服を預かったり、配布先の公共機関の職員の方に、「交歓会を見たよ。知ってもらえてきて良かったね」など声をかけて頂い

たり、「こども服交歓会」の周知が進んでいる手ごたえを感じました。

3) 対象者

妊婦、子育て中の親子、子どもにかかわりたい人、ボランティアに関心のある人など

4) 開催日時・場所・参加者数

上記①のように、年間7回、チラシを作成、配布・掲示しました。

参加人数：チラシ作成スタッフ 延べ8人

チラシ配布スタッフ&ボランティア 延べ61人

③LINE@の登録者数が、400人以上となりました。

○柱立て10.「おおきくなったね！×おおきくなってね！」子ども服交歓会 他市他県展開プロジェクト（説明会&開催支援）

1) 目的

子ども服交歓会をより広い地域に広げていく。

2) 内容

県外の地域でも、この事業が広がっていくことを願っていますが、コロナ禍で交歓会を安定して開催していくことが難しい中、昨年度立ち上がり始めた岡山のメンバーがプロジェクトを始動させるまでのサポートを進めることができませんでした。昨年度、山梨県富士川町の児童館からの問い合わせがありましたが、コロナ禍で動きにくい中で、開催するような動きになりませんでした。

3月末、オンラインで交歓会を開催していることを知った他市の団体から、オンラインでどのように開催しているか、との問い合わせがありました。

○柱立て11. SDGs、持続可能な社会をつくる事業としてPRする

1) 目的

誰もが参加できる持続可能な活動であることを、機会をとらえてPRする。

2) 内容

①「SDGs実践事例学習交流会」（主催：NPOオール上尾市民活動ネットワーク）で、事例発表をしました。参加したことで他団体との交流ができ、市内中学校のSDGsの授業で活動紹介をする機会につながり、中学生が事業に協力する流れになりました。

埼玉未来大学（シニア大学）で、地域活動を伝える講義を受け持ち、受講生の中から継続的にボランティアで関わる方が出てきました。

②エコな素材を使用した、「おおきくなったね！×おおきくなってね！」のロゴが入ったチャームを作成しました。チャームを見て、「それなあに？」と、口コミでこの事業が広がっていくこと

が目的です。チャームをつけることで“他の子どもの成長も一緒に喜びたい”という意思表示になるということも伝えていきたいと考えました。

チャームの素材に、(株)エドウィンにデニムの基準外の生地を提供していただき、ロゴをプリントしました。リメイクチームのひとりである地元の高校家庭科教諭の協力から、高校生がチャーム作成を引き受けてくれました。しかし500個という数の多さに、全部完成するまでには至らず、現在も作成中です。

3) 対象者

環境問題に関心のある人など

4) 開催日時・場所・参加者数

①5月16日(日)

「SDGs 実践事例学習交流会」(主催：NPOオール上尾市民活動ネットワーク)

場所：上尾市文化センター

参加人数 30人

②2021年4月～2022年3月の通年

<チャーム>

表面は、(株)エドウィンより頂いた、基準外の生地、ロゴをプリントしたデニム生地。

裏面には、集まった洋服で、全面は汚れてしまっているけれど裏面はまだキレイな洋服の生地や、布の端切れを縫い合わせ、チャームを作りました。リメイクチームのひとりである地元の高校家庭科教諭の協力から、高校生がチャーム作成を引き受けてくれました。このチャームを渡して、活動を知ってもらったり、関わる人を増やしていくきっかけにします。



1) コロナ禍でのとりくみから

対面での交歓会については、感染状況や国の方針をみて、交歓会を開くか中止にするかをその都度決めました。感染予防に配慮した開き方ができる会場を選び、換気のために工場扇を置き、飛沫防止シートを設置。参加者は、事前予約制とし、検温や体調について記入しての受付。使い捨て手袋をつけて服を選んでもらいました。密にならないよう、入場者数を調整しながら入れるなどして、クラスターが起きないように配慮しました。

対面の交歓会に参加した方からは、「とても助かります！コロナ禍での対策ばっちりでした。」「ていねいな配慮と感染対策で安心して参加できました。」「人数制限されていて良かったです。」など、コロナ対策を講じた上での開催を喜ぶ声を多くいただきました。

また、中止にした場合にも洋服の循環が止まってしまうよう、ビデオ会議ツール Zoom を用いた「オンライン交歓会」を開催したり、今年度初めての試みとして、対面の交歓会に申し込んだけれど中止となってしまった方に向け、欲しい洋服の希望を聞き、ボランティアスタッフが洋服を選んでお渡しする「福ふく袋プロジェクト」を行いました。

「オンライン交歓会」や「福ふく袋プロジェクト」で洋服を手に入れることができた方からは、「かわいいお洋服で満足です。スタッフさんが、使用感や汚れも教えてくれていたので、ガッカリ！というのがありませんでした。」「レアな可愛い服ばかりで春物も入れてもらえて嬉しかったです。すごく気遣ってくれた組み合わせだと感じました。」「自分で選べなかったことは残念でしたが、素敵なアイデアにとっても感動しました。福袋の中身もお願いした希望に丁寧に対応してくださっていて、娘もとても喜んでいました。」など、喜びの声が届きました。

今後も、with コロナの生活は続き、いつ大きな流行の波が来るかもわからない状況ですが、それを想定した上で、洋服の循環を止めず、必要な時に必要な人に届くよう、今後も「コロナ禍での交歓会」の可能性を模索していきます。

<新たなニーズや課題>

今回、1月開催予定だった対面での交歓会が急遽中止となったため、代わりに、希望の服を伝えてもらい、スタッフが選んでお渡しする「福ふく袋プロジェクト」を初めて行いました。それに参加した人などの声から、コロナ禍が長引き、生活が苦しくなったり、人とのかかわりが持ちづらい中、洋服を無料でもらえることがとても助かる人が多くいることを改めて実感しました。「オンライン交歓会」も昨年度から行ってきましたが、参加できる人が限られていたり、準備への労力が大きい割には、お渡しできる量が少なく、選びながら交流できて楽しいとの声はあるものの、難しく感じていました。今回の「福ふく袋プロジェクト」は、需要が多く、継続してできるといいのですが、希望に合わせて選んで詰めて渡す準備が大変でもあります。どの形で実施するとしても、密にはならないようにしつつ、より多くのボランティアを集めてのチーム作りや、早めのスケジュール管理が必要となります。

また、預かった子ども服の保管スペースも課題となっています。参加者としては、いつでも、どんな季節のものも預かってもらいたい、という希望があると思いますが、現状では、倉庫のキャパシティに応じて、預かりを制限したりもしています。今後、空き家、空き室を持つ方が、ボランティアで子ども服を保管する、といったつながりもできることが望まれます。

2) 社会資源とのつながり

今年度は本事業を進めることで、孤立や貧困の状況にある子育て家庭が社会資源につながって、地域の中でやっていけるようにしたいと取り組み、行政機関との連携が大きく進んだ年になりました。行政が制度的な支援を受けられるよう定期的に見守り支援している親子が、地域の中で支えあいの関わりがあるようになってほしいと、本事業をきっかけとして紹介されるようになりました。例えば、情報を整理できずに危険なメール等にアクセスしてしまったり、ネットゲームで知り合っただけの結婚、実家が遠かったり、実家と折り合いがよくなって孤立しがちな中、赤ちゃんが泣くのを受け止めきれずに手をあげてしまったり、未婚でシングルだったりといった、今の時代のいろいろな困難を抱えている方と出会い、そのお一人おひとりとつきあうことが始まりました。

コロナ禍となり、人と関わることができにくくなっている中で、“子ども服を一緒に選ぶ”ことができるために、その方と、その方の困難だけに直面しての会話ではなくて、生活の中での何気ない会話ができること、温かなほっとする時間が持てることから、ゆるやかに信頼関係ができてくるように感じています。

また、コロナ禍の影響で体調を崩した母親が、社会資源のサポートを受けながら、なんとか暮らしていけるように必要な機関につなげたこともありました。

今年度は、行政の貧困対策計画策定の年にあたり、行政のヒアリングとして、子ども食堂、フードパントリー、学習支援等の団体とともに声がかかり、同席して意見交換をする機会がありました。本事業で計画していた「社会資源帳」の発行には至りませんでした。行政と会合を持ち、他団体とも連携する中で本事業を進めることができ、必要な時に必要な機関につなぐ手立てを増やすことができました。

<新たなニーズや課題>

行政としては、把握し支援している生活困窮家庭に、ただ洋服を届けばいいと思っているわけではなく、母親と子どもが地域の中で人との関係がある中での暮らしができるようになり、何とか自分でやっていけるようになってほしいと考えていると思います。赤ちゃん服とグッズの常設展示をしている場合は紹介しやすく、子育て支援拠点にもつなげやすく、より広い支援につながるための入り口としてのニーズが高まっているのを感じます。

来場した親子が少しずつ打ち解け、気がかりなことや必要な支援などの話をするができるよう、受け入れ態勢を整えておくことが、より一層必要となっています。また、必要な支援につなげられるよう、行政や各団体との連携も常に取り、意見交換等の機会を設けることが必要と考えています。

また、交歓会に障害のある子どもとともに来場するケースもあり、どんな親子も、気兼ねなくリラックスして参加できるよう、人員や環境を整えながら開催していきたいと思っています。

3) ボランティアの広がり（可能性）

今年度は、コロナ禍でのボランティア活動がどのようにできるかを探していくために、チームとして役割を明確化して共有し、ボランティアも加わってプロジェクト会議を行うことで、誰かができなくなっても実施できるようにしていくことと、活動の場でクラスターが起きないようにということを考えて行いました。前半の子ども服交歓会では、ボランティアの募集に苦労しましたが、後半、次第に希望者が増えていきました。人の役に立ちたい思いや、人とつながりたい思いを持った人が潜在していることを実感しました。

当プロジェクトでは、コロナ禍での交歓会の実施の仕方を様々に模索してきた中、安心してボランティアをしてもらえる方法も探し続け、提供してきました。様々な活動がストップせざるを得ない時

期にも、感染予防を徹底しながら、活動は止めない、ということができたため、上尾市社会福祉協議会からボランティア受け入れの依頼があり、連携が進んだりもしました。

また、企業の社会貢献活動として、まとまった人数での参加があったり、中学校のSDGsの授業でこの活動を知ったことから、中学生たちが自分が着なくなった服を530着集めて「福ふく袋」を作ってくれたり、高校生が、企業から提供してもらった基準外の生地を使ってチャームを作るプロジェクトに参加してくれたりといった広がりもありました。

赤ちゃんの洋服やグッズの常設展示をしていることで、新生児の時期からこの事業に関わる保護者も多く、子ども服を次の子どもにまわしていこうとする動きの入口にもなっていたり、参加した保護者が、自分にもできることはないかと伝えてくれ、活動に加わってくれることも多くありました。

コロナ禍となってから地域活動ができにくくなっている中で、参加できる地域活動を探している機関があることも知り、今後、安心してボランティアできる活動先として、当プロジェクトにかかわってもらえるよう、一層働きかけていきたいと思えます。

今年度「第3次上尾市地域福祉計画・第6次上尾市地域福祉活動計画」の策定年度にあたり、上尾市社会福祉協議会からボランティア育成の好事例として冊子に掲載されました。

<新たなニーズや課題>

コロナ禍でも、あるいは、コロナ禍だからこそ、自分にも何かできるのではないかと、役に立てるのではないかと考える人が多く存在することがわかりました。そういう人のために、まず、交歓会に参加すること自体が、洋服が循環し、必要な人に必要な洋服が届く手助けとなることを伝えたり、交歓会の準備や当日の運営ボランティア、そのままでは着られない子ども服や端切れを使って、スタイやチャームを作るボランティアなどがあることを、わかりやすく伝えていくことが課題の一つとしてあります。それぞれが気軽に参加できるよう、作業を細かく分類して提示し、どこからでも参加できるようにしていきたいと考えます。

もう一つは、より柔軟なチームとして動けるようにしていくことが課題です。これまでも、プロジェクト会議に参加しコアとなっているボランティアや、1日だけのボランティアなど、様々な立場の方々とチームとなって活動してきましたが、このところのニーズとして、個人だけでなく、学校や企業からまとまった人数での参加希望もあります。どのようにチームを組み込みながら、感染予防もしつつ安心して活動できるかを考えながら活動していくことが必要となっています。

今後の展望

今年度でWAM助成が終了することになりましたが、本事業を運営するための財源確保について行政に働きかけつつ、本事業のボランティアマインドとワークの見える化を整えて、さらにこの活動が有形無形の持ち寄りによって、少ない予算でできるようにしていきます。

着なくなった子ども服を持ってきてくれる気持ち自体が、ボランティアマインドとワークの始まりになっていきます。子ども服を持ってくる時に、子どもの成長を喜んで、次に着てくれる子どものことを考えて、もう一度洗濯をしたり、サイズ分け作業を引き受けて、届けてくれています。交歓会で季節ごとの服の提供がしやすいように、季節が合わない洋服はお家倉庫での保管をお願いして、回転していく流れがスムーズになるための協力を頼めるようにもなっています。交歓会前に行うサイズ分け作業は、まる一日、時間がかかります。短い時間であっても、何人もの方が、子どもの面倒を家族に頼んでボランティアに出かけてきます。そのまま出せないものはリメイクやウエスに回すなど、資源の選別をする大切な作業です。大切に着ていたであろう服に出会うこともあって、今着ている服も大切にしようと思ったり、子どもが自分で選ぶ機会も大切にしようと思ったり。服を循環させることを皆で意識化して、SDGsが生活の中で、くらしのサイクルの中に根を下ろしていく、そんな効果が得られることを広く伝えていきたいと思えます。

子どもを持った人たちが、互いのことを思いあい、ボランティアワークに参加することで、ボランティアマインドが育っていくこの事業を、多くの市民が支持するものに更に育てていきます。本事業は、有形無形のたくさんのボランティアマインドとワークでできています。その魅力的な見える化は、地域や社会を元気にして励ますことになるでしょう。

1) 成果物

<チラシ 7 回配布>

(表面)

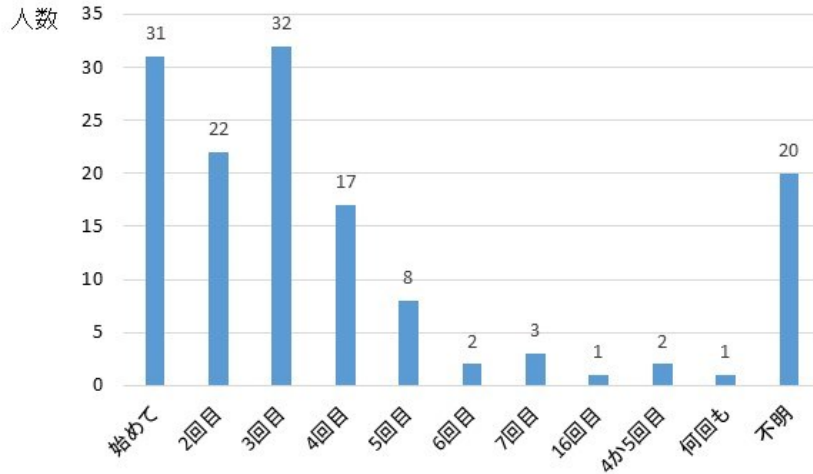
(裏面)

※8/22 は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

2) アンケート結果

【子ども服交歓会（対面）】 2021年4月25日

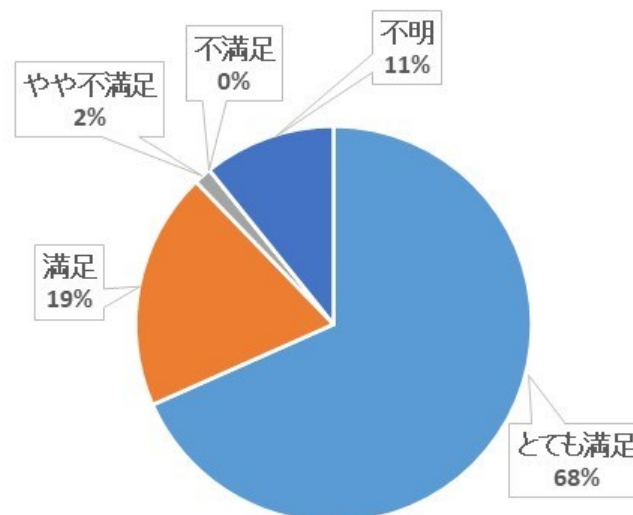
1. この「大きくなったね×大きくなってね」プロジェクトは、2017年9月から開催してきましたが、今回は何回目のご参加ですか？



	初めて	2回目	3回目	4回目	5目	6回目	7回目	16回目	4～5回目	何回も	不明	合計
人数	31	22	32	17	8	2	3	1	2	1	20	139

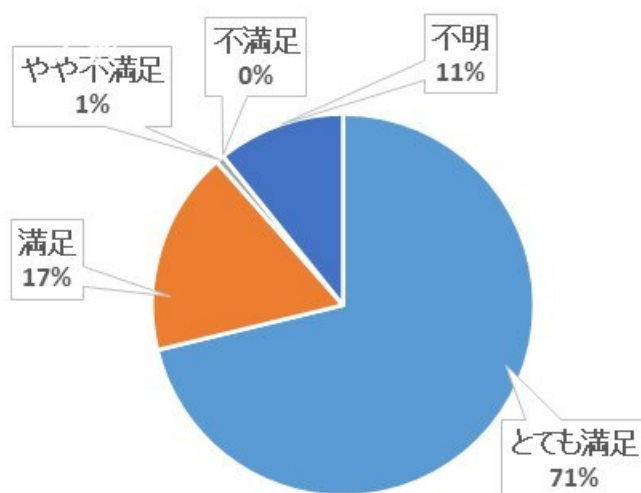
2. コロナ禍の中では、今回、初めて開催しました。今後もどのように開くことができるか、開催方法を模索しています。皆様のご協力もあって開催できます。ご意見を聞かせてください。

①予約制について



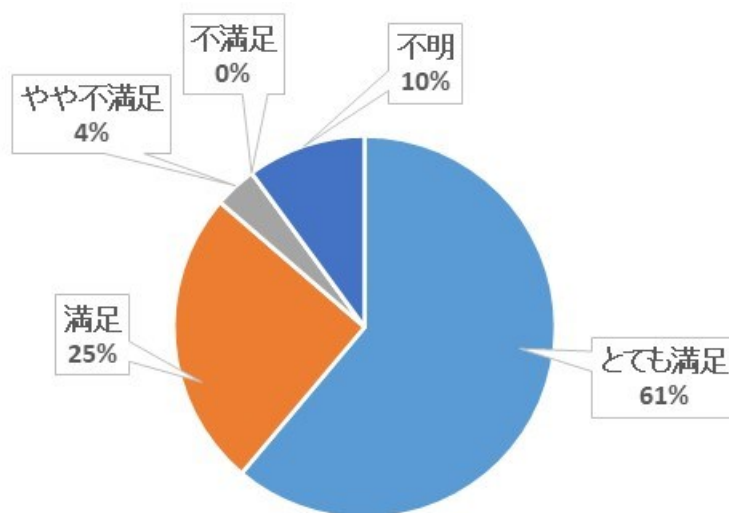
	とても満足	満足	やや不満足	不満足	不明	合計
人数	95	27	2	0	15	139
%	68	19	2	0	11	100

②今回、全サイズから選べるようにしたことについて



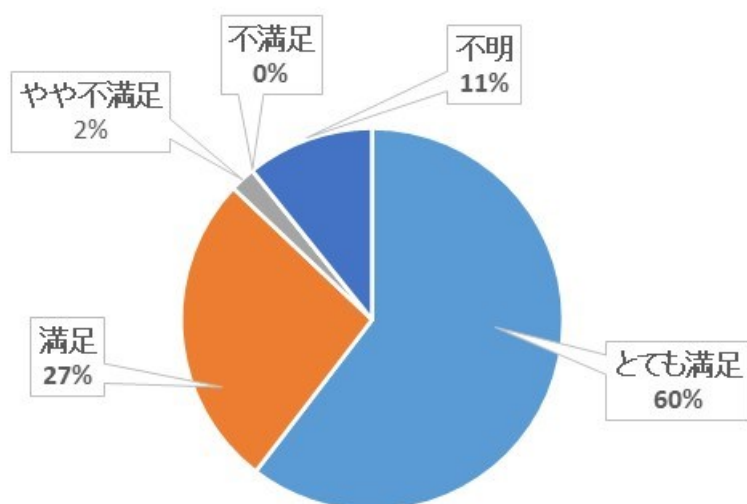
	とても満足	満足	やや不満足	不満足	不明	合計
人数	99	24	1	0	15	139
%	71	17	1	0	11	100

③当日の受付・入場の仕方について



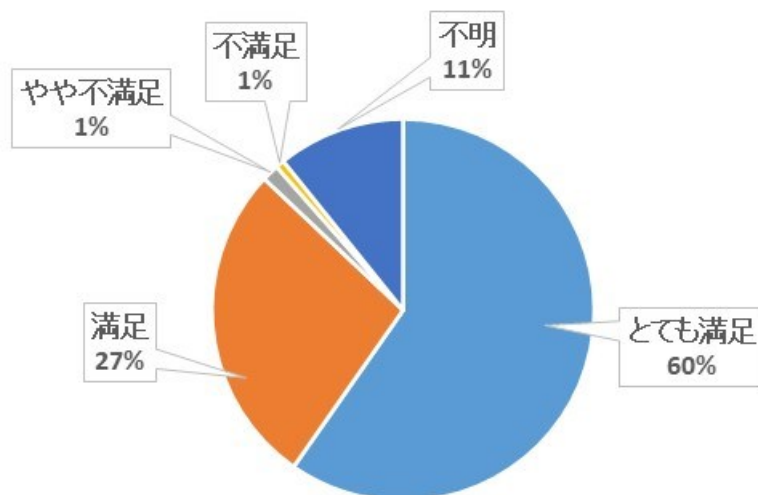
	とても満足	満足	やや不満足	不満足	不明	合計
人数	85	35	5	0	14	139
%	61	25	4	0	10	100

④子ども服の展示の仕方、選びやすさについて



	とても満足	満足	やや不満足	不満足	不明	合計
人数	84	37	3	0	15	139
%	60	27	2	0	11	100

⑤お渡し場所のやり方について

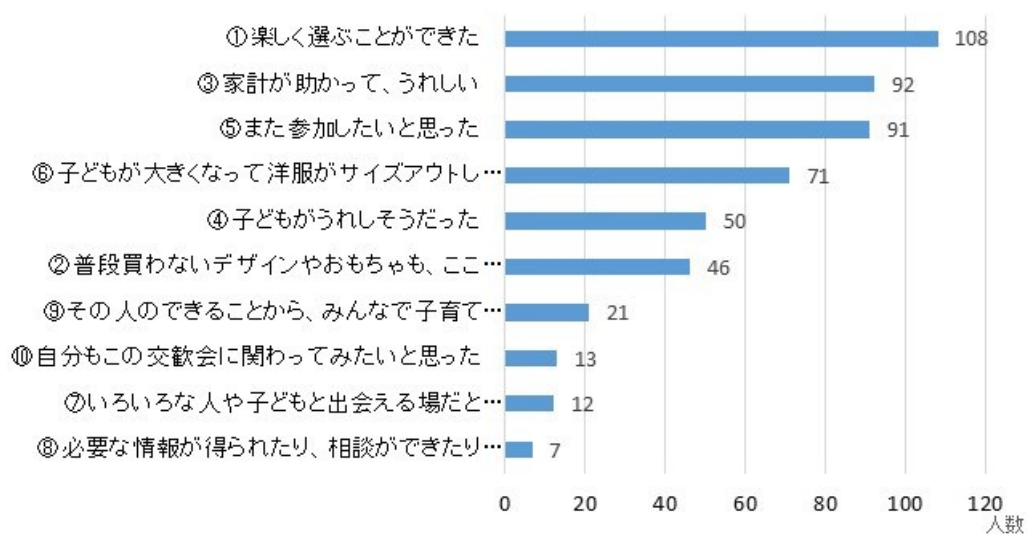


	とても満足	満足	やや不満足	不満足	不明	合計
人数	83	38	2	1	15	139
%	60	27	1	1	11	100

⑥ コロナ禍での今回の開催方法について、思うことを、ご自由にお書きください。

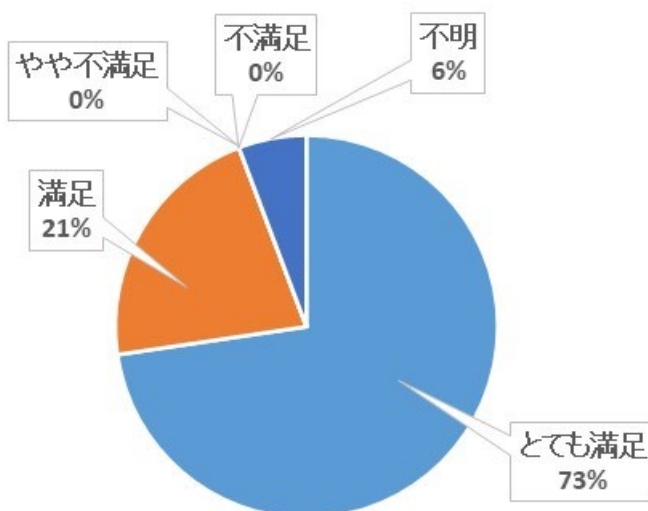
ありがたいです。手袋はお互いに安心できますね。
とても助かります！コロナ禍での対策ばっちりでした。
とても良い
とても良く考えられていると思う
100と110が一緒だったため、タグを見るのが大変でした
うけわたし、並ぶ場所を説明してください。
コロナ禍での工夫にとっても感謝します。
コロナ禍でも開催していただけてとても助かります
コロナ禍前のやり方より良いと思います
コロナ禍前より良いと思います(ハート)
ずっと待っていました。ありがとうございます。
ていねいな配慮と感染対策で安心して参加できました。
てぶくろを使用したのはよかったです。
とても工夫されている
なかなかこう言った機会がないのでうれしい。
ビニール手袋はお洋服を選びづらいが、コロナ禍の配慮ありがたいです
やれること最大限にやっていると感じました。
よく考えられていると思います
リサイクルの精神でとてもいいと思います。
安心して参加できました
過密にならないで選べて良いと思う
各サイズの所にアルコールがあり、良かった。
楽しく選ぶことができた
工夫して開さいしてくださりました。ありがとうございます
再開していただいてとても嬉しいです！
実際に来れてよかったです
色々注意しなくてはならない事が多く大変ですが、また開催して頂きたいです。
人数制限されていて良かったです。
対策がしっかりなされて居たので安心して参加できた
対策がとれていて良かった。
大変な時なのに、ありがとうございます！きふもできてたすかります！
大変な中ありがとうございます
大変の中、開催してもらえてうれしいです。
入場予約でゆったりと参加できた
不安があるが、お下がりがいただけること助かります。
分けて開催されたので密を避けられた
予約制で安心です
予約制で行う事で、以前より密にならずに良いと思う
良い開催方法だと思う。予約制
(⑤について)大変そうなので。
(⑤について)並ぶので。子どもだけでなく大人も入れたのよかったです。
入口でハンドマイクで喋っている方、色んな方向を向いて頂けると密にならずに遠くで待っていても聞こえて良いと思う。

3. この交歓会に参加して感じたことを選んでください（複数選択可）



① 楽しく選ぶことができた	② 普段買わないデザインやおもちゃも、ここでも試せる	③ 家計が助かって、うれしい	④ 子どもがうれしそうだった	⑤ また参加したいと思った	⑥ 子どもが大きくなって洋服がサイズアウトしたら、他の誰かに着てほしいと思う	⑦ いろいろな人や子どもと出会える場だと思った	⑧ 必要な情報が得られたり、相談ができた	⑨ その人のできることから、みんなで子育てを応援しあう取り組みだと思った	⑩ 自分もこの交歓会に関わってみたいと思った
108	46	92	50	91	71	12	7	21	13

4. このプロジェクトや、今日の交歓会について、満足度を教えてください。



	とても満足	満足	やや不満足	不満足	不明	合計
人数	101	30	0	0	8	139
%	73	21	0	0	6	100

5. この交歓会を何で知りましたか？

	チラシ	LINE@	ホーム ページ	フリー ペーパー	友人、知 人の紹介	その他	不明
人数	39	52	10	3	18	4	13

<チラシ入手先>

保育所 (2)、保育園 (14)、小学校 (7)、児童館 (1)、職場 (市内保育園) (1)

6. 自由記述

ありがとうございました！
ありがとうございました。いつも丁寧に対応下さいます。
いつもありがとうございます。おもちゃが少なくて子どもが1こもなくてさみしそうだった。(ぜいたくですが(汗))
いつもとても助かっています！本当にありがとうございます！！
いつも助かっています！
いつも助かっています！ありがとうございます
毎回助かっています。
オモチャのうけ入れをしてもらえると、家のを持ってこられてうれしいです。
かわいいのがたくさんあったのしかった
かわいい服が多くて良かったです。
かわいい服を選んで良かったです。
コロナ禍で大変な中、開催していただきありがとうございます。いつも楽しく参加させて頂いています。
サイズアウトした服を有効活用できるので、よい取りくみだと感じました
すぐサイズアウトしてしまう服を頂けてとても助かります。かわいい服やおもしろそうなおもちゃもあり楽しかったです
たくさん洋服を見れた
とてもよかったです。ありがとうございます。
とても家計に助かりました。
とても楽しかったし、助かります
とても楽しかったです！
とても助かります。
とても助かります。また参加したいです
とても良いイベントだと思います。
また参加させていただきます
よいお洋服出会えて、子どもがよろこんでいたことが何よりです。資源を大切に、協力し合える仕組みがすばらしいと思います。次回は持ち込みます。
下の子が成長した時に洋服を持ってきます！
家計が助かってうれしい。
久しぶりに会える方もいてうれしかったです！
見やすくて良かったです

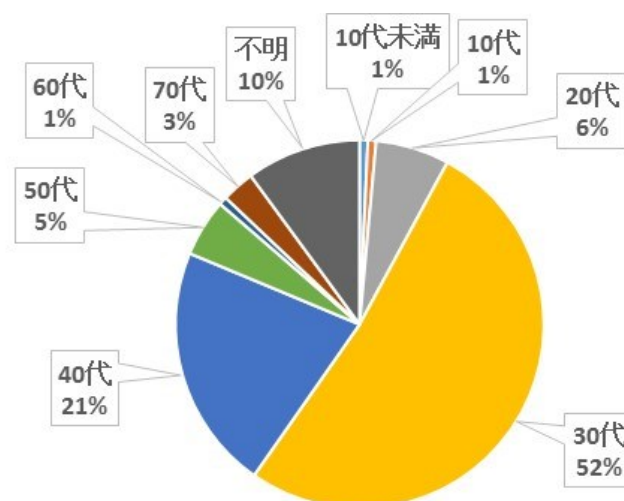
見やすく並べていただいていた良かった
広い会場は移動が楽で良かったです。
今日もたのしかったです。
子どもがえらべるのがとても良かった
子どもたちも自分のほしいものがもらえてうれしそうだった。
子供も楽しく参加できてよかったです。どうも有難うございました。
不要なものを渡せるのもすごい良い
服いがいを寄付できるのを知りませんでした
保育園の服が選べて助かりました。
洋服をきれなくなったら、つぎのひとにまわして…とても良い活動だと思いました。
受付の**がよくないのかなと思う部分がありました。名前をかく所への案内がわからずに、まず受付に並んでしまったため
これから夏なので半袖、短パンばかりでした。長袖や羽織るものも欲かったです。
140～が欲しかったのですが、点数が少ないと思いました。

7. お答えいただいた方について教えてください

<性別>

	女性	男性	不明	合計
人数	117	17	5	139
%	84	12	4	100

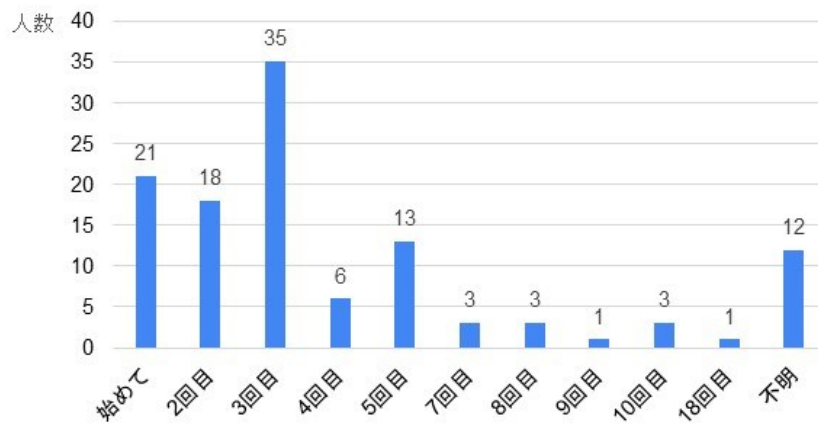
<年代>



	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	不明	合計
人数	1	1	9	72	30	7	1	4	14	139
%	1	1	6	52	21	5	1	3	10	100

【子ども服交歓会（対面）】 2021年7月17日

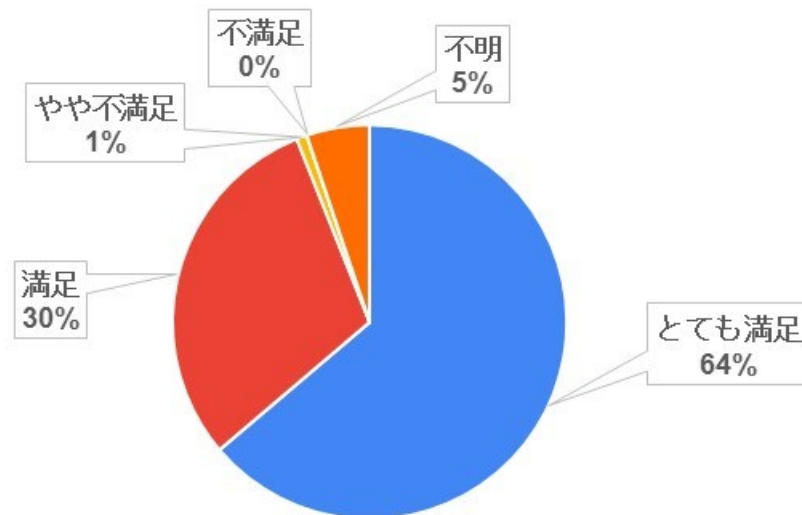
1. この「大きくなったね×大きくなってね」プロジェクトは、2017年9月から開催してきましたが、今回は何回目のご参加ですか？



	初めて	2回目	3回目	4回目	5回目	7回目	8回目	9回目	10回目	18回目	不明	合計
人数	21	18	35	6	13	3	3	1	1	1	12	116

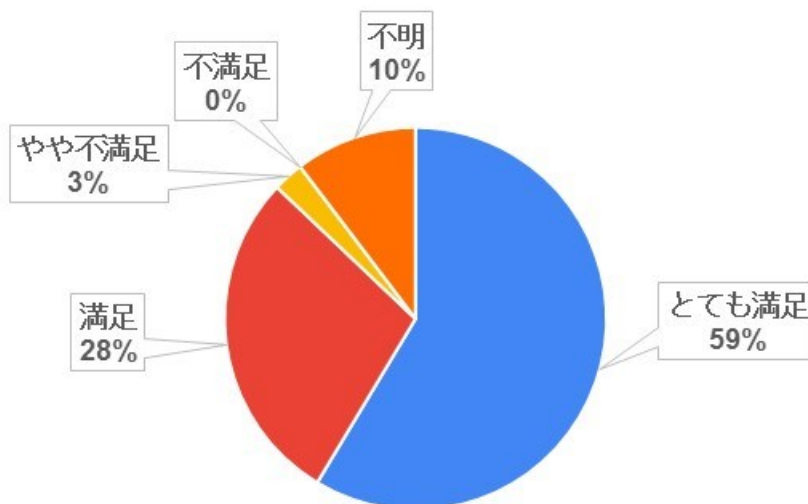
2. コロナ禍の中では、今回、初めて開催しました。今後もどのように開くことができるか、開催方法を模索しています。皆様のご協力もあって開催できます。ご意見を聞かせてください。

①予約制について



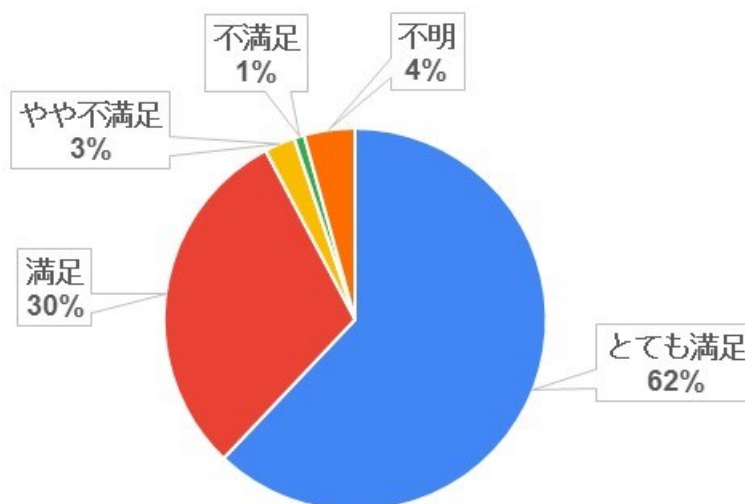
	とても満足	満足	やや不満足	不満足	不明	合計
人数	74	35	1	0	6	116
%	64	30	1	0	5	100

②サイズ別の時間にしたことについて



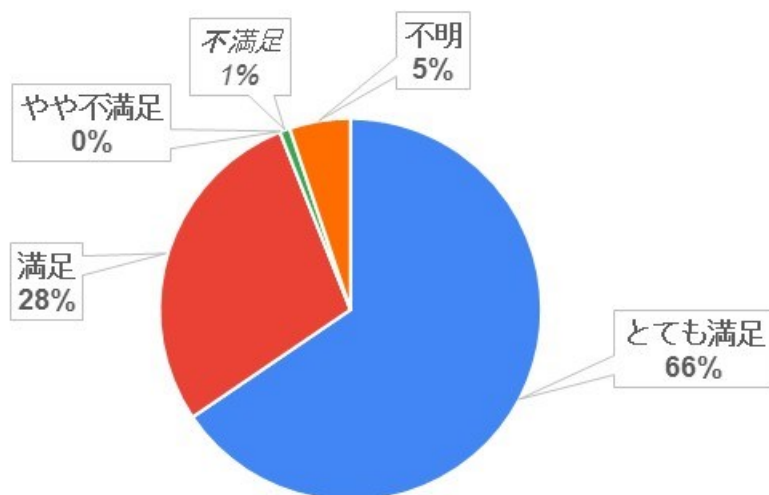
	とても満足	満足	やや不満足	不満足	不明	合計
人数	68	33	3	0	12	116
%	59	28	3	0	10	100

③当日の受付・入場の仕方について



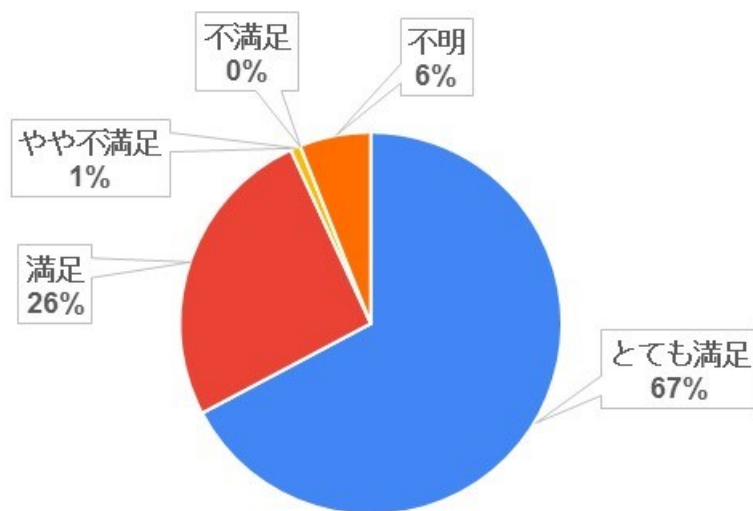
	とても満足	満足	やや不満足	不満足	不明	合計
人数	72	35	3	1	5	116
%	62	30	3	1	4	100

④こども服の展示の仕方、選びやすさについて



	とても満足	満足	やや不満足	不満足	不明	合計
人数	76	33	0	1	6	116
%	66	28	0	1	5	100

⑤お渡し場所のやり方について

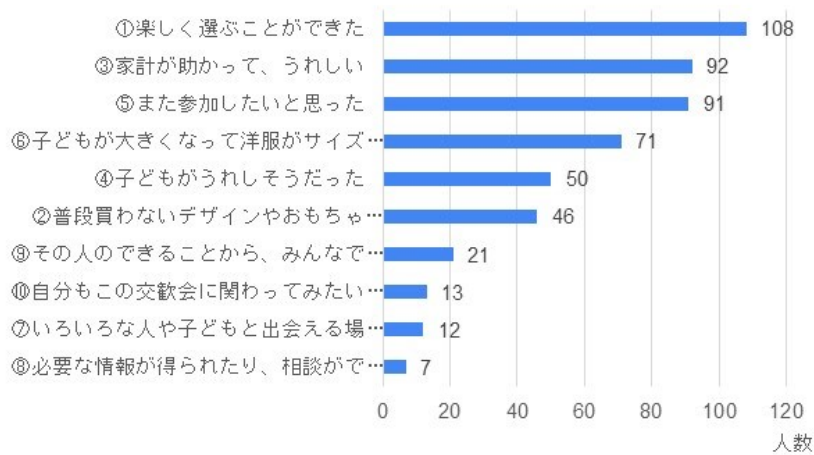


	とても満足	満足	やや不満足	不満足	不明	合計
人数	78	30	1	0	7	116
%	67	26	1	0	6	100

⑥ コロナ禍での今回の開催方法について、思うことを、ご自由にお書きください。

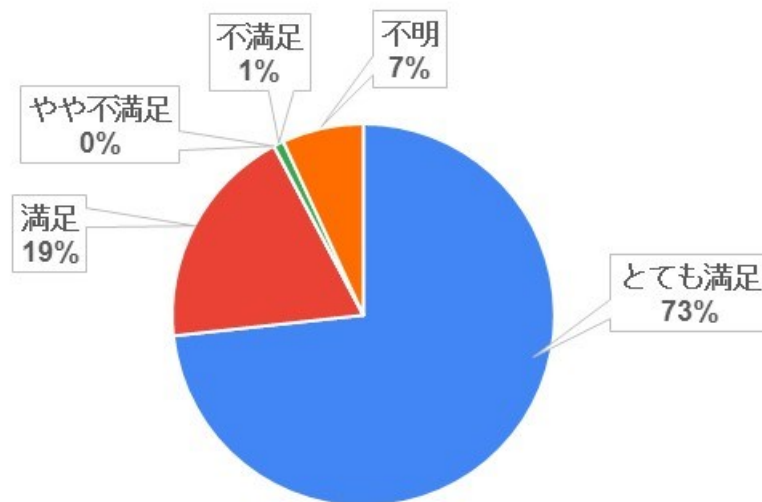
あまり密にならず良かった。外での待ち時間が暑かった
ありがたい。今後もお願いします
イベントがない中、親子ともども思い出になった
きちんとされている
この方法素晴らしいです。また参加したいです
コロナ禍でも開いてくれてありがとうございます。
コロナ禍で開催していただき嬉しいです。
います。
コロナ対策をしたうえで続けてほしい
しっかりしていてよかったです。
とてもいいと思います
とてもいいやり方だと思います。
とても助かります。ありがとうございます
よかった
よく考慮されていると思う
安心です。とてもいいです。
安全にできることが1番です
楽しく選ぶことができました。
感染予防をしていただいた中でスムーズに行っていただいた
広い場所で予約制だったので安心して参加できました
広くて選びやすかったです
色々な対策をしてくださってありがたかったです。
対策がしっかりされているので問題ないです
対策されていて安心
大変な時期に開催していただき、感謝しています
大変な中の開催に感謝いたします。ありがとうございました。
入場時に子どもだけの時と大人と一緒にの時とアンケートを2回書く必要はないと思った
本当に助かっています

3. この交歓会に参加して感じたことを選んでください（複数選択可）



①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
楽しく選ぶことができた	普段買わないデザインやおもちゃも、ここでなら試せる	家計が助かって、うれしい	子どもがうれしそうだった	また参加したいと思った	子どもが大きくなって洋服がサイズアウトしたら、他の誰かに着てほしいと思う	いろいろな人や子どもと出会える場だと思った	必要な情報が得られたり、相談ができた	その人のできることから、みんなで子育てを応援しあう取り組みだと思った	自分もこの交歓会に関わってみたいと思った
108	48	92	50	91	71	12	7	21	13

4. このプロジェクトや、今日の交歓会について、満足度を教えてください。



	とても満足	満足	やや不満	不満	不明	合計
人数	85	22	0	1	8	116
%	73	19	0	1	7	100

5. この交歓会を何で知りましたか？

	チラシ	LINE@	ホーム ページ	フリー ペーパー	友人、知 人の紹介	その他	不明
人数	35	39	11	3	13	3	12

<チラシ入手先>

保育所 (9)、小学校 (7)、あそぼうよ (6)、こども園 (1)、支援センター (1)

尾山台みんなの広場 (1)

6. 自由記述

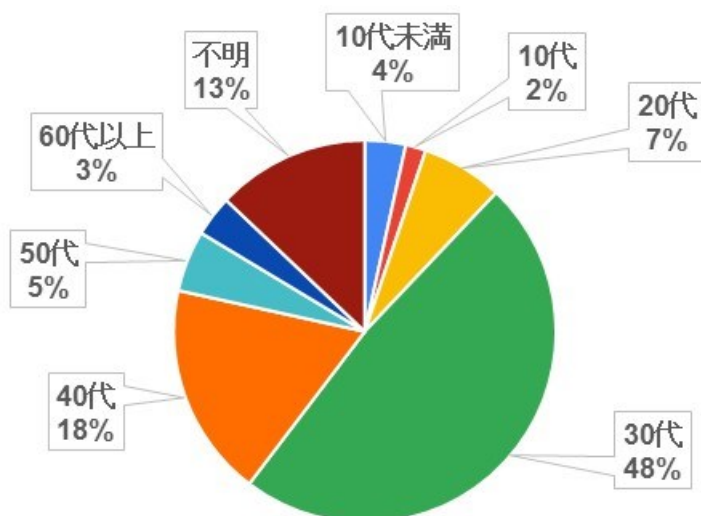
2年ぶりくらいに参加できてうれしかったです。
ありがたいし、素敵な活動だと思います。
ありがとうございました。
いつもありがとうございます
いつもありがとうございます。助かります。
いつもたくさんいただいてありがとうございます。
いつもとても楽しく参加させてもらっています。ありがとうございます
いつも助かっています
サイズがわかりづらい
サイズ別でとても選びやすかったです
スタッフの方も親切で楽しく選べました。ありがとうございました。
とても満足しています
また参加したいです
また来たいです
ゆっくり選べ、人も限られていてとてもよかったです
夏物を多く出してほしい
楽しかったです。ありがとうございました。
楽しかったです。ありがとうございます
子どもが楽しそうに選んでいました。
子どもが着られなくなった服をまた持ってきて参加したいと思います。
自分の好みが出てくるようになったので、自分で選ばせられるのがよかった
初めて参加したが、また大きくなったら服を持ってきて参加したいと思った
新しい服を選んでよかったです
普段選ばないものを気軽に着せることができうれしいです
服が足りなかったので助かりました
毎回楽しみにしています。ありがとうございました。
100cmの洋服が少なく感じた
10点持ちながら記入するのは大変だった

7. お答えいただいた方について教えてください

<性別>

	女性	男性	不明	合計
人数	98	15	3	116
%	84	13	3	100

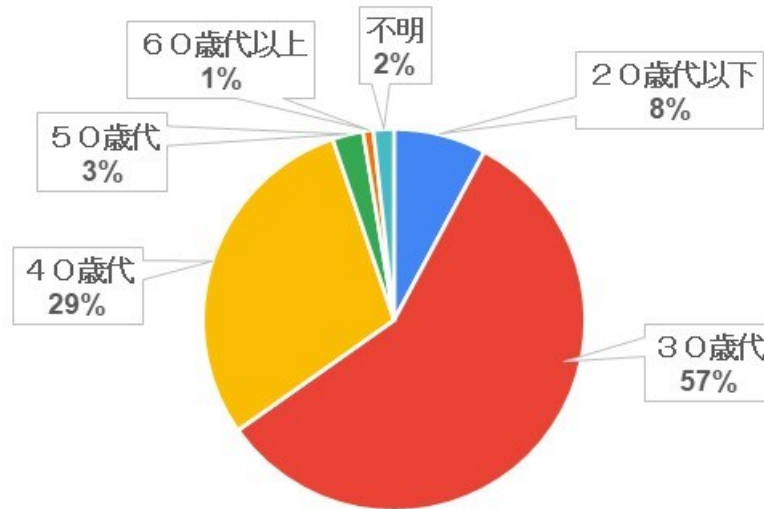
<年代>



	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	不明	合計
人数	4	2	8	56	21	6	4	15	116
%	4	2	7	48	18	5	3	13	100

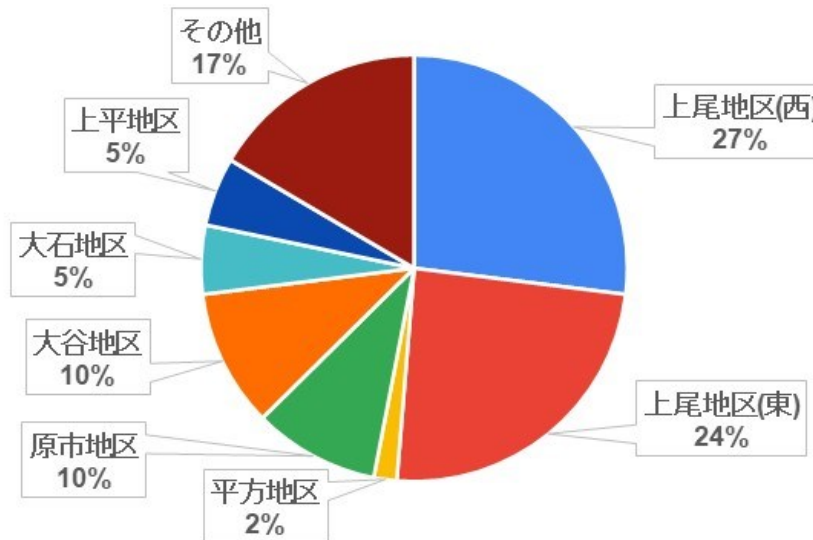
【子ども服交歓会（対面）】 2021年11月14日

1. お答えいただいた方について教えてください



	20代	30代	40代	50代	60代	不明	合計
人数	9	66	34	3	1	2	115
%	8	57	29	3	1	2	100

2. 本日はどこからお越しですか？

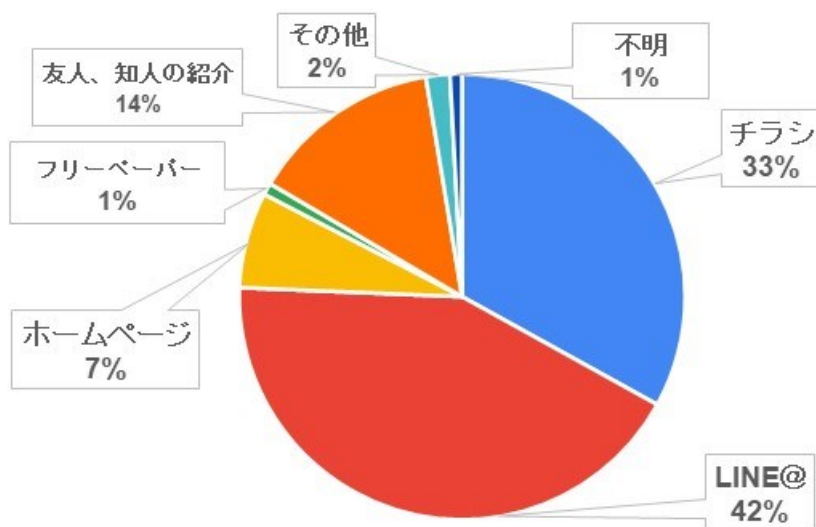


	上尾地区(西)	上尾地区(東)	平方地区	原市地区	大谷地区	大石地区	上平地区	その他	合計
人数	31	28	2	11	12	6	6	19	115
%	27	24	2	10	10	5	5	17	100

3. この「大きくなったね×大きくなってね」プロジェクトは、2017年9月から開催してきましたが、今回は何回目のご参加ですか？

	初めて	2回目以上	合計
人数	21	94	115

4. この交歓会を何で知りましたか？

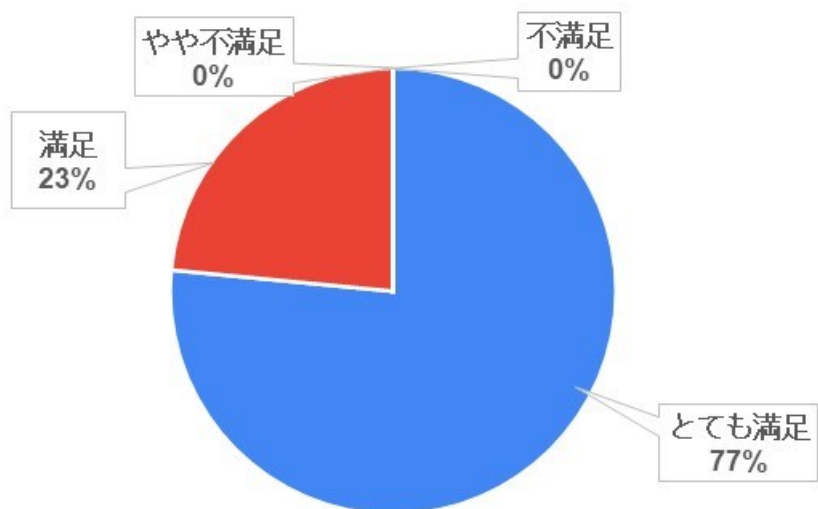


	ちらし	LINE@	ホームページ	フリーペーパー	友人、知人の紹介	その他	不明	合計
人数	38	49	8	1	16	2	1	115

<ちらし入手先>

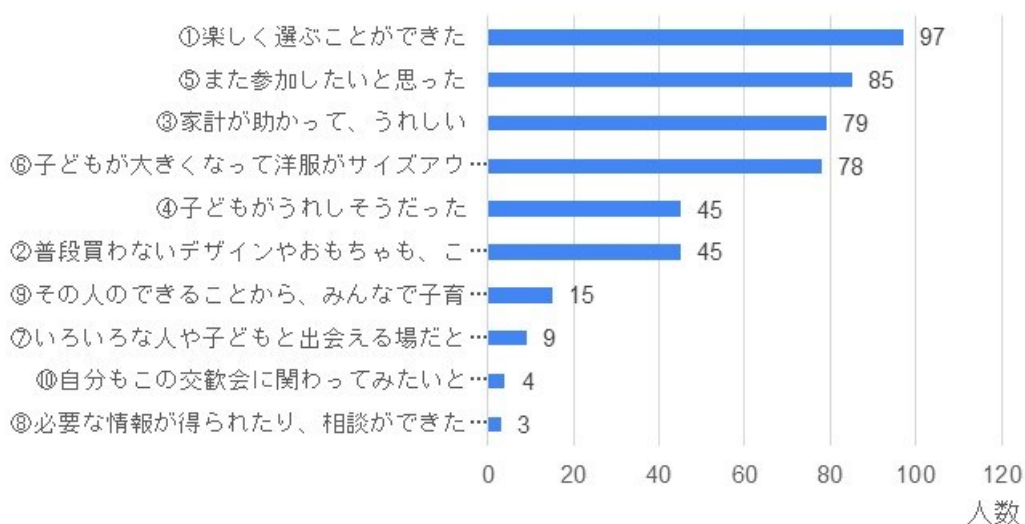
保育園 (16)、幼稚園 (3)、小学校 (6)、公民館 (1)、支所 (1)、あそぼうよ (5)、知人 (2)、イオンモール上尾 (2)、前回開催時 (1)

5. このプロジェクトや、今日の交歓会について、満足度を教えてください。



	とても満足	満足	やや不満足	不満足	合計
人数	88	27	0	0	115
%	77	23	0	0	100

6. この交歓会に参加して感じたことを選んでください（複数選択可）



①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
楽しく選ぶことができた	普段買わないデザインやおもちゃも、ここでなら試せる	家計が助かって、うれしい	子どもがうれしそうだった	また参加したいと思った	子どもが大きくなって洋服がサイズアウトしたら、他の誰かに着てほしいと思う	いろいろな人や子どもと出会える場だと思った	必要な情報が得られたり、相談ができた	その人のできることから、みんなで子育てを応援しあう取り組みだと思った	自分もこの交歓会に関わってみたいと思った
97	45	79	45	85	78	9	3	15	4

7. 自由記述

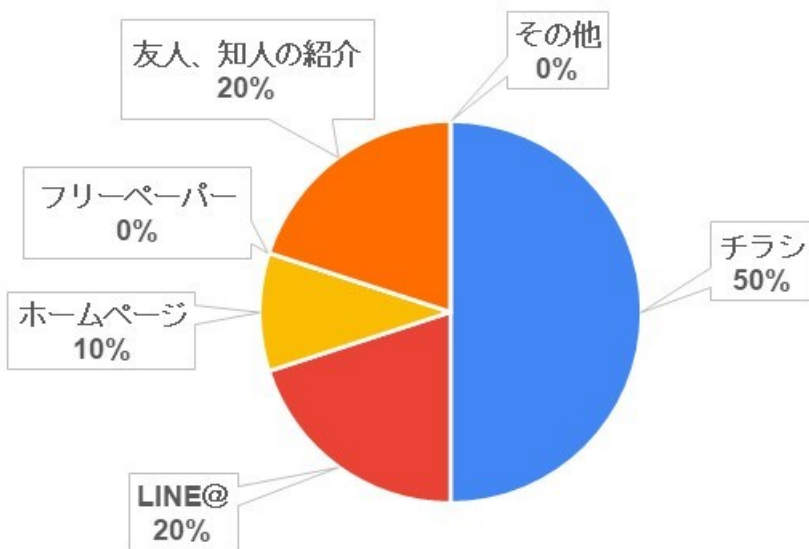
アイテム数が多く選べたのでよかったです。
ありがとうございました。
ありがとうございました。助かります。
アンケートがネット上でスムーズでした。
アンケートの記入方法を増やしたことにより、お渡し場所がスムーズに流れていたと思います。
いつもありがとうございます
いつもお世話になり助かっています。ありがとうございます。
いつもとても助かっています。
いつも楽しい時間をありがとうございます。親子で楽しめました。
いつも楽しく参加させていただいています。ありがとうございました。
いつも楽しく参加させていただきありがとうございます。前回出した服を別のお子さんが来ているのを見てうれしかったです。
いつも楽しみにしています。大切に使用させていただきます。ありがとうございます。
いつも助かってます。ありがとうございます。
いつも大変助かっています。本当にありがとうございます。
150サイズがあまりないので助かりました。
いろんな服が見られて楽しかったです
おもちゃが増えると嬉しいです。
お洋服代がかかるので助かります。
コロナ渦の中、子供が楽しく選ぶことができた。
コロナ渦の中開催してくださり、ありがとうございます。助かります。
たくさんありがとうございます。大切に活用させていただきます。
たくさんお洋服をもらえました。ありがとうございました。
たくさん提供し、たくさんいただけ良かったです。
たくさん服があり、楽しく選ぶことができた。人数制限やコロナ対策をされていて安心して参加することができた。
たくさん洋服を選ぶことができ満足しています
どうもありがとうございました
とてもありがたい取り組みです。また服持ってきます。
とてもいいイベントでした
とてもよかったです。思っていたよりきれいでした。もう少しテーブルが大きいと嬉しいです。
とても楽しかった
とても助かった
とても助かっています。楽しく選びました。
またきます！毎回助かります
また参加したいです。
ママの服やアイテムもあったのですごく助かった
ゆっくり選ぶことができました。
よいものがたくさんあって楽しめました
よかったです。
LINEで月曜からの予約となっており、訂正ライン後に予約をしようとしたが最後の回しか予約が取れませんでした。洋服をたくさん用意していただき、余りものという感じではなく選ぶことができてよかったです
楽しかったです
楽しかったです。ありがとうございました。
見やすく手に取りやすかったです
今回は子どもが自分でおもちゃを選べるようになって一緒に来れて楽しそうでした。
今回もいい服に出会えてよかったです。

今日もかわいいお洋服をいっぱいいただきました。また着なくなった洋服をもらっていただけるのはありがたいです。ありがとうございます。
子どもが1人で選ぶ時間があつたのが良かったです。数を数える勉強にもなりました。
子どもと楽しくたくさん洋服を選べた
子どもの成長が早く、いつもとても助かっています。
色々な服があつて楽しかった。ありがとうございます。
前回のオンラインも良かったが、直に選べて楽しかった。
沢山の服をもらえてありがたかったです。
保育園用にととても助かりました。
保育園用の服やグッズがたくさん選べてよかったです
宝さがしみたいで楽しかったです。
毎回お世話になっております。感染対策しながら受付から選んだものを受け取りま
でとてもスムーズでした。
流れがスムーズでよかった
様々な工夫をしてくださりありがとうございます
洋服以外のグッズもあると知り、持ってきてたいと思いました。その他手作り品もあるといいなと思いました。
受付で列の流れが止まってしまっていたので、子どもの写真撮影可否のテープ・記入漏れや検温のチェックを、紙を記入するところで出来たら、さらにスムーズに流れたと思いました。受付の方の負担が大きそうだったので...
大きいサイズがあると助かります
140~150の男子用のフォーマルウェアがあると嬉しいです

1. この「おおきくなったね×おおきくなってね」プロジェクトは、2017年9月から開催してきましたが、今回は何回目の参加ですか？

	初めて	2回目以上	合計
人数	0	10	10

2. この交歓会を何で知りましたか？



	チラシ	LINE@	ホームページ	フリーペーパー	友人、知人の紹介	その他	合計
人数	5	2	1	0	2	0	10

<チラシ入手先>

保育園 (1)

3. この交歓会に参加して感じたことを選んでください（複数選択可）

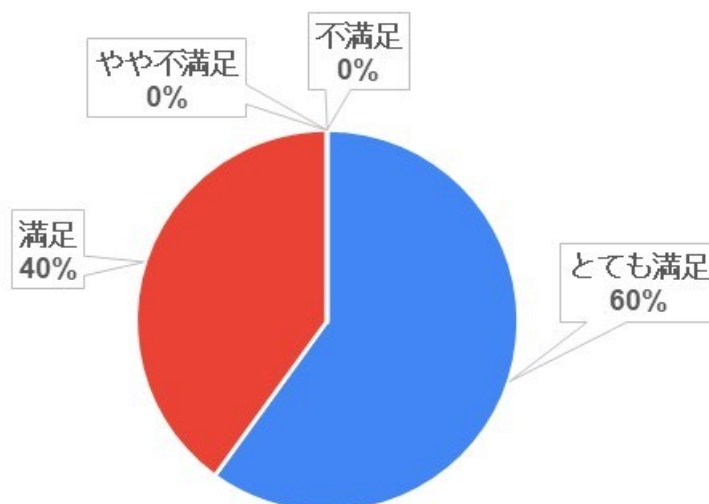


① 楽しく選ぶことができた	② 普段買わないデザインやおもちゃも、ここでなら試せる	③ 家計が助かって、うれしい	④ 子どもがうれしそうだった	⑤ また参加したいと思った	⑥ 子どもが大きくなって洋服がサイズアウトしたら、他の誰かに着てほしいと思う	⑦ いろいろな人や子どもと出会える場だと思った	⑧ 必要な情報が得られたり、相談ができた	⑨ その人のできることから、みんなで子育てを応援しあう取り組みだと思った	⑩ 自分もこの交歓会に関わってみたいと思った
9	0	9	5	8	9	2	0	0	1

4. zoom での交歓会開催となりましたが、やってみてどうでしたか？

スタッフの方が手際よく進行してくださって選びやすかった。
想像以上に楽しかったです！運営のみなさんも一生懸命に見せてくれて嬉しかったです。
沢山のスタッフさんのおかげで、楽しく選べました。ただ、参加者で若干サイズが異なる為に何度もウロウロさせてしまい、申し訳なく感じました。
実際に見ないで決めるといのはどんな感じかなと、不安もありましたが、楽しかったですし、スタッフの方が勧めてくれたお洋服もとても気に入りました。
自分の選ぶ番はワクワク楽しかったのと、他の方が選ぶ時も楽しく見ることができました！服の傷み具合がわかりずらかったですが、手元に届いたお洋服はどれもまだまだ着られるお洋服でした！
分かりやすい説明、洋服も大きく映して下さり、選びやすかった
イメージがわからないままの参加でしたがアットホームで良かったです。2名という人数もちょうどよく、他の方のお子さんのコーディネートを見学できて、楽しかった。
具体的に自分の欲しいものや、好みを整理しておいて伝えられるようにしたら、効率よかったですかな、と思いました。間があると、やや気まずい感じがしたので。
手元カメラで見やすかったです。
他の方の洋服選びが参考になった
zoom自体が初めてだったので、どんな感じなのかと思ってましたが、楽しく参加する事ができました。こちらの希望にあった服を選んで頂いたり、見やすいように工夫して頂いたり、スタッフの方は大変だったかと思います。本当にありがとうございました。また、機会がありましたら是非参加したいです。

5. このプロジェクトやについて満足度を教えてください。



	とても満足	満足	やや不満足	不満足
人数	6	4	0	0
%	60	40	0	0

6. お手元に届いたお洋服はどうでしたか？

満足しました。早く着せたいと思います。
大体満足、ちょっとサイズ違い、イメージ違いもありました。
かわいいお洋服で満足です。スタッフさんが、使用感や汚れも教えてくれたので、ガッカリ!というのがありませんでした。
とても気に入りました。
子どもも気に入ってくれました！
まだまだ着られるお洋服だったので、大切に着たいと思います！
とても満足
色合いは手にしないと分かりませんが、きれいなものを選んでくださいました。
とても可愛くこれから着るのにちょうどよかったです。
これから受け取るので親子で楽しみにしています
選んだ服は大変満足でした。また、少しプラスして頂いたものがあり、福袋感覚で面白くて嬉しかったです。

1. このプロジェクトや、今日の交歓会について、満足度を教えてください。

	とても満足	満足	やや不満足	不満足	合計
人数	2	0	0	0	2

2. この交歓会に参加してよかったことを選んでください（複数選択可）

① 楽しく選ぶことができた	② 普段買わないデザインやおもちゃも、ここでなら試せる	③ 家計が助かって、うれしい	④ 子どもがうれしそうだった	⑤ また参加したいと思った	⑥ 子どもが大きくなって洋服がサイズアウトしたら、他の誰かに着てほしいと思う	⑦ いろいろな人や子どもと出会える場だと思った	⑧ 必要な情報が得られたり、相談ができた	⑨ その人のできることから、みんなで子育てを応援しあう取り組みだと思った	⑩ 自分もこの交歓会に関わってみたいと思った
2	2	2	1	2	2	2	2	2	1

3. この交歓会を何で知りましたか？

彩の子ネットワークホームページ (1)、こども☆夢☆未来フェスティバルホームページ (1)

4. 感想をお書きください。良かった点・気になった点・アイデアなど、なんでも結構です。

- ・人数が少なくてゆっくりたくさん選べたのでよかったです。保育園に来ていく服たくさんいただけただけなので本当に助かりました！いただいて帰ってから開けたらさっそく着てました笑(西川さんが見つけてくれたカーズのズボン)

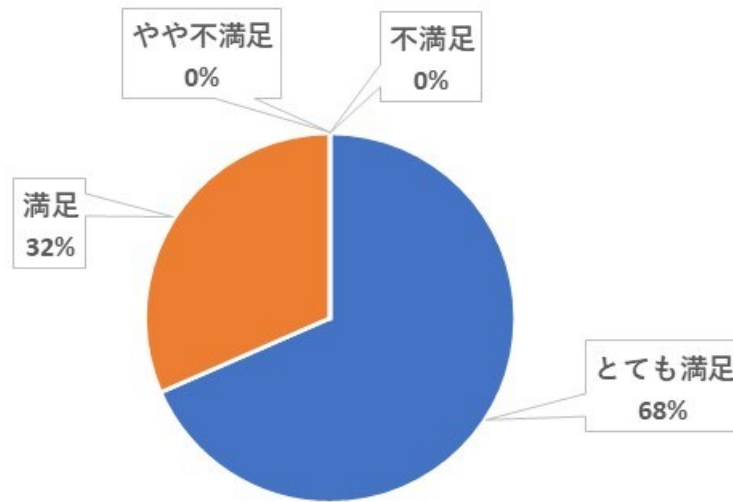
学生さんが手伝ってくれたのも新鮮で楽しかったです。こちらの服の伝え方が難しいなあと思いました。例えば、伸びると言っても、感覚がそれぞれ違うので具体的に例えられたら伝えやすかったのかな？

- ・沢山洋服が置いてあり選ぶのに迷うぐらいでした！ デザインも事細かに説明いただけで助かりました

5. お答えいただいた方について教えてください

- ・女性 (30代)
- ・女性

1. 今回、初めて「福ふく袋」プロジェクトを行いました。満足度を教えてください。



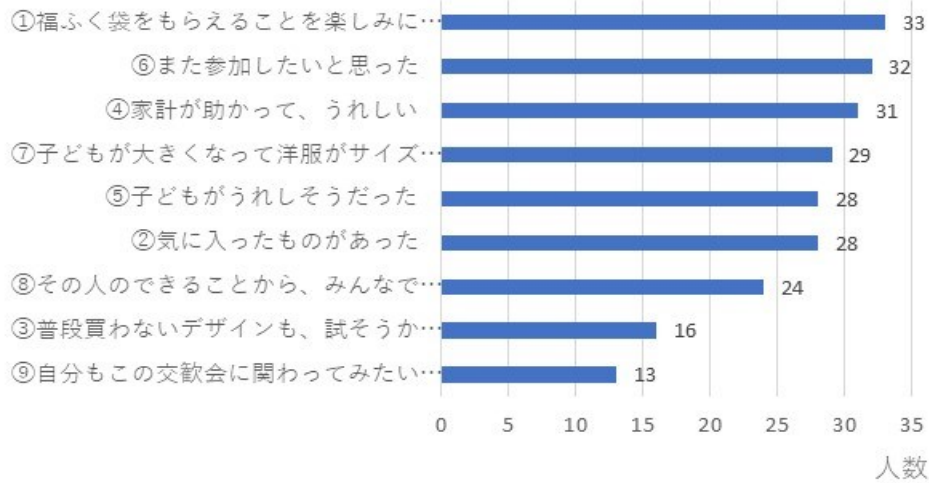
	とても満足	満足	やや不満足	不満足	合計
人数	26	12	0	0	38

2. その理由を教えてください。

いつも助かっています
この大変な中こんな素敵な機会を考慮下さって楽しみにしていました。
コロナの影響で中止となったが、臨機応変に対応していただき大変助かっております。
コロナ禍ですが、楽しい企画を行っていただけありがたいです。
プリンセス好きな娘の心を掴んだ！
リクエストをさせて頂いた服も含め、普段使いできるものがたくさん入ってました！
レアな可愛い服ばかりで春物も入れてもらえて嬉しかったです。すごく気遣ってくれた組み合わせだと感じました。
一生懸命選んでくれた事が伝わったから
希望した服が入っているという安心感と期待
希望にあった様々な服を沢山入れていただいて、良かったです。
希望に沿った洋服を、予想以上に沢山頂けたため。
希望に合わせて頂きありがとうございます。沢山入っていて、長袖（薄手、厚手）、ズボンと幅広く嬉しいです。
希望に添えるものが無かったとメモしてありましたが、凄く可愛い服ばかりで娘もとても喜んでました。
希望のサイズの服をたくさん頂いた。
気に入った服もあり、丁寧に選んで頂いたので。
交歓会が中止になっても手元に届くような配慮をしてくださったから

交歓会が中止になっても手元に届くような配慮をしてくださったから
子供がとても喜んでいたので。
子供が喜びそうな服が何着も入っており着させるのが楽しみだから。
子供が欲しかった服を頂けたので。
子供達が、とても喜んでいました。
自分では選ばない柄も着せてみると可愛くて楽しかったから。 でも、自分でも選びたかった気持ちもあった。
自分で選べなかったことは残念でしたが、素敵なアイデアにとっても感動しました。また、福袋の中身もお願いした希望に丁寧に対応してくださっていて、娘もとても喜んでいたので。
選ぶことはできませんでしたが素敵なお洋服をたくさんいただきました！汚れがあるお洋服が少し多かったのですが大切に着させていただきます！
選んでいただいた服を子供が喜んでいたので
素敵な企画だと思います
息子が気に入ったものがいくつかありました
沢山、頂いて助かりました。
沢山可愛い洋服が入っていたから
保育園でたすかる
保育園用に使う洋服を探していたので
本当は選ぶ会に参加したかったが、中止にならずに服をいただけるのは嬉しかった。
密になることなくスムーズに受け取れたから
2人分戴きましたが、下の子の服の量が多かった。
無料で洋服を交換してくれるのはとてもありがたい。すぐサイズアウトしてしまう月齢だから助かります。
無料なので、あまり期待していなかったのですが、綺麗で種類も豊富で子供も大喜びでした。
予想以上に好みの服や、着やすそうな服がたくさんいただけました！
要望していたものを探してくれて感謝しています。
欲しいものが入っていた

3. このプロジェクトに参加して思ったことを教えてください。(複数選択可)



	① 福ふく袋を もらえること を楽しみに していた	② 気に入っ たものが あった	③ 普段買 わないデ ザイン も、試そ うかなと 思った	④ 家計が 助かっ て、うれ しい	⑤ 子ども がうれし そうだっ た	⑥ また参 加した いと思っ た	⑦ 子どもが大き くなって洋服がサ イズアウトした ら、他の誰かに 着てほしいと思 う	⑧ その人のでき ることから、み んなで子育て を応援しあう 取り組みだと 思った	⑨ 自分もこ の交歓会 に関わっ てみたい と思った
人数	33	28	16	31	28	32	29	24	13

4. このプロジェクトを何で知りましたか？

	チラシ	LINE@	ホーム ページ	フリー ペーパー	友人、知 人の紹介	その他	合計
人数	16	7	5	3	6	1	

<チラシ入手先>

保育園 (2)、保育所 (7)、学校 (6)、公民館 (1)、あそぼうよ (2)、子育て支援センター (2)、東保健センター (1)、交歓会 (1)、ポスト投函 (1)

5. 自由記述

ありがとうございました。
良かった
ありがとうございました。この活動のおかげで我が家はほとんど服を買わずにいられてとても助かっています。 一つ提案なんです、今娘の入園式のスーツを探していて、ママさん同士、もう着なくなったフォーマルスーツの交換会などがあると本当に助かるなあと。メルカリとかもいいのですが、実際見て着ていない為、写真と実際の違いが結構あるので、この期限定とかで 卒園式入園式のママさん応援みたいな交換会とかあるとおもしろいし、ありがたいなあとと思います！

<p>いつも日時的に参加出来ないことが多かったのですが、今回初めて時間が合ったため申込みました。ですが、今回も当日の参加は都合により難しくなったのですが、福袋になったおかげで、隙間時間に取りに伺うことが出来ました。いつも参加が難しい私にとっては、好きな時間に取りに行ける今回の企画はとてありがたい企画でした。</p>
<p>イベントが中止になり残念でしたが服福袋はとても良いアイデアだと思いました！選んだりとても大変だったかと思えます、ありがとうございました</p>
<p>イベントを（特に子供が）楽しみにしていたので残念そうにはいしましたが、福ふく袋とても喜んでいました。この機会をありがとうございます。</p>
<p>いろんな種類の洋服を入れてくれたので嬉しい。普段選ばないような物も試せるし保育園用に使えるのでありがたい。</p>
<p>このような状況下の中でも沢山のお洋服を提供して頂けたことに感謝しております。</p>
<p>コロナに早急に対応して、ふく袋の形で選んで下さったのはありがたいです。</p>
<p>コロナの関係で開催できなかったが、福袋として提供して頂けて嬉しいです。会場での開催のほうが自分の好きなものを選べるのでまた開催してほしいとおもいます！</p>
<p>コロナ禍でイベントがどんどん中止になって子供達がガッカリしていたなか、福服袋はとても嬉しいプレゼントでした。とれも喜んでいました。ありがとうございました！ 選んでくれた中学生さんも、ありがとうございます！</p>
<p>コロナ禍での状況下で、様々な工夫をして頂き本当にありがとうございます。今回の福福袋嬉しく思います。</p>
<p>すごく助かります。</p>
<p>セレクトして頂けるところからやって頂いたので普段自分では選ばないような洋服にもチャレンジできる所が良い</p>
<p>どんな洋服がいいか希望を取ってくださり良かったです。また、思っていたより多く頂けて嬉しかったです。</p>
<p>よく汚す上、すぐサイズアウトすると考えると高い服やいっぱい服を買うのも…と思うが今しか着れない大きさの服を色々着せてあげたい気持ちもあり、こういう無料のリサイクルのがあるととても助かります。 ありがとうございました！</p>
<p>一言メッセージが付いていて、嬉しかったです。</p>
<p>希望に沿った洋服を沢山いただいたのが、とても良かったです。</p>
<p>今回のやり方は、受けとる側からすれば非常に負担が少なく助かった</p>
<p>子どもが自分の意思で服を選ぶ楽しみ</p>
<p>子どもたちは公園が好きでよく遊びに行くのですが、すぐに洋服は泥だらけ、転んで穴だらけ、にするのでこのような企画は本当に助かります。 また、サイズアウトした服を捨てるのも気が引けるけど、知り合いにお古を渡すタイミングもなかなかないので、気軽に渡せる所があるのも嬉しいです。 大満足です！ありがとうございました。</p>
<p>子供服は、直ぐにサイズアウトするし、汚れるので中古品で十分だと思います。まだまだ着れるものを次に誰かが着てくれるのも嬉しいです。</p>
<p>思っていたより量も入っていて助かりました</p>
<p>事前に希望をきいてくださり、その服をできるだけ希望に沿うように選んでくださった優しさと労力に感謝です。本当にありがとうございました。今回は服だけど知らず、グッズも希望を出してしまいました。次回があるならば、服以外も含まれるとありがたいです。</p>

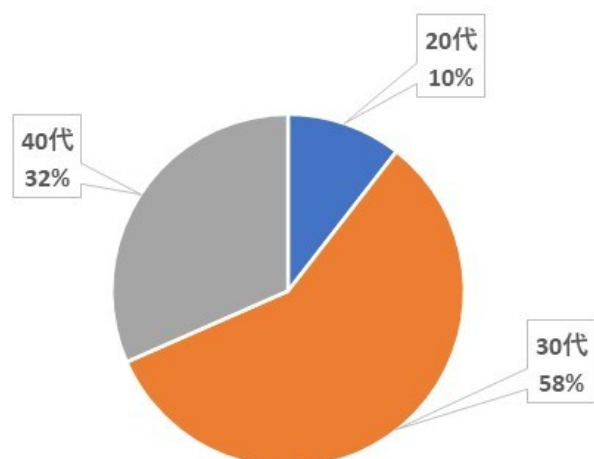
事前に伝えた希望のサイズや色などを考慮してくださり助かりました。今回は受取行く日時がだいぶ限られていたので、調整が大変でした。
時代にそったアイデアが素敵です
初めて利用しました。子どもがとても喜んでいました。ありがとうございました！
冬服の交換会になかなか行く機会がなかったので参加したかったのですが、福袋に代わって選べない反面、コロナ対策で人との接触がなくていいのかも？しれないと思いました。下の子の帽子を希望しましたが、入っていませんでした。面白い試みで子供が楽しんでいました。「これいいやつじゃん！」と(笑)子供に選ばせたら半分くらい不要なものが出てしまったので回収箱があると嬉しいです。
服を無駄にしない環境に優しい取り組みで、大変助かっています。
福袋なので、開けるのがドキドキでとても楽しみでした！自分で選ぶのも楽しいですが、こういうのも楽しいな！嬉しいな！と思いました！服を届けて(寄付して)くれた方、選んでくれた方の想いも一緒に頂いたように感じました！
保育園で使えそうでよかったです。助かりました。
無料イベントなのに中止ではなく、違う形で届けよう、喜んでもらおうという熱意が伝わってすごい感動しました。
毛玉の多過ぎるお洋服は経年変化として着心地や印象的に回収を避けてほしいです
友達からお誘いを頂いての初めての参加でした。残念ながら交歓会には参加出来ませんでしたが、福袋はたくさんの可愛いお洋服が入っていて、子供と見るのも楽しかったし、とても嬉しかったです！またこのような機会があれば、是非参加したいと思いました！ありがとうございました！！
欲しいお洋服ばかりでした。ありがとうございました。必ず全て着ます！！
欲しかったものがジャストで合って嬉しかったです。やはり、女の子ものはかわいいですね！男物に見慣れていたのでテンション上がりました！

6. 性別を教えてください

	女性	男性
人数	38	0

7. 年齢を教えてください

	20代	30代	40代	合計
人数	4	22	12	38
%	10	58	32	100



3) マスコミ等掲載記事

上尾市市民活動センター情報誌
「むすびん」2021年10月号 掲載

第一生命上尾支社地域向けフリーペーパー
「上尾オフィスからのお知らせ」
2021年 vol.4 掲載

第3次上尾市地域福祉計画・
第6次上尾市地域福祉活動計画
掲載

【ボランティアセンターによるボランティア活動への参加促進
～ “自分にもできる活動” を一緒に考えます! ～】

ボランティアセンターでは、地域住民のボランティア活動に関する理解と関心を深めていただくために広報啓発を図るとともに、ボランティア活動の相談、登録、幹事などを行っています。

地域活動などは、担い手不足と言われていますが、市民アンケートによりますと、地域活動などに参加していない理由として「勤務などの都合で機会がないから」「時間が足りないから」と回答された方が多くいます。

ボランティアをしたい方とボランティアを必要としている方とを結びつけるのが我々ボランティアセンターの役割です。

その一つが「夏休みボランティア体験」です。

ボランティア活動に興味・関心がありながら、なかなか参加の機会が得られなかった児童、生徒、社会人などにボランティア活動を体験してもらうものです。毎日、市内の福祉施設やボランティアグループなどの協力を得ながら、ボランティア活動の普及・啓発・育成を図っています。

また、日々のボランティア相談を受ける中でも、以下のような活動紹介のやりとりもあっています。

市内に活動拠点がある子育て支援のNPO*法人では、子ども服の交換会を定期的に開催しています。

ご家庭において、子どもが成長して着られなくなった洋服を無料でお預かりし、交換会の場にて必要なご家庭へ無料でお渡しする活動を通して、子育て世帯の方々同士のつながりを築き、孤立を解消する地域づくりを目指しています。

そこではさまざまなボランティアを募集しており、「30分、1時間、当日でも、事前でも、できる時間ですることができることがあります!」と交換会の開催ごとに連絡、設置、洗濯ボランティアなど、さまざまな形での参加を募っています。

先日、ボランティアセンターを訪ねてきた学生に対して、この活動を紹介しました。「子育てのボランティア活動なんて、全然考えていませんでしたが、自分の都合に合う活動もあるんですね。相談してよかったです。」と空いた時間で設置のお手伝いをしたそうです。

ボランティアセンターでは、さまざまなボランティアグループの登録をいただいているほか、施設などのネットワークもあります。ボランティア活動に関心を持った方が、できるだけ活動の機会が持てるように調整に努めます。



「WAM」
2021年11月号掲載



埼玉トヨペット はあとねっと輪っふる「かわら版」
2022年4月30日号掲載

2021年度独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業
「おおきくなったね！×おおきくなってね！」
こども服交歓会 事業報告書

2022年3月発行

認定特定非営利活動法人彩の子ネットワーク

〒362-0014

埼玉県上尾市本町 2-13-8 根貝戸団地 1階

電話：048-770-5272

FAX：048-770-5270

e-mail：office@sainoko.net

HP：http://http://www.sainoko.net/